

柳川市立図書館システム機能要件確認書

別紙1 調達機器仕様

以下の各機器の仕様・性能要件は、参考とし、提案パッケージに適した機器での提案を認める。
但し、基本的に提案は記載の水準以上の製品とし、性能が不十分な機器を提案した場合は機器
変更を指示する場合がある。

調達機器仕様について下記要領で記入すること。

対応(水準以上製品を含む)「○」、対応不可「×」を区分して、「対応」欄に記入すること。

性能要件

カウンター用業務端末 ディスクトップパソコン

仕様	内容	対応
型	一体型モデル、又はブラケット等を用いて本体をディスプレイに取付け可能なモデル	
OS	Windows10Professional	
ディスプレイ	カラー液晶20型以上(解像度 1,280× 1,024 以上)	
	液晶ディスプレイの高さ調節ができること(調節幅10cm程度)	
CPU	インテル® Core™ i3-8100Tプロセッサ(3.10GHz)同等以上	
メモリ	4GB以上	
HDD	500GB以上	
LAN	RJ45 LANコネクタ相当 1ポート以上	
ワイヤレス	無線LAN(IEEE802.11ac, IEEE802.11n, IEEE802.11a, IEEE802.11g, IEEE802.11b)	
DVD-ROM	内蔵型	
USBポート数	4ポート以上	
キーボード	テンキー付きJIS配列準拠109キーボード	
マウス	ホイール付きUSBレーザーマウス又は、光センサーマウス	
セキュリティ	盗難防止セキュリティワイヤーが取付け可能であること	
ウイルス対策ソフト	ウイルス、スパイウェア、フィッシング、漏洩防止等を防止するソフトウェアを選定すること	
再セットアップ用媒体	Windows10Professional 1個	
OSブラウザ	次期システムに対応できる最新のOS・ブラウザを搭載すること	
オフィスソフト	最新のMicrosoft officeを搭載すること	
その他	5年間当日訪問修理を行うことができること	
	バーコード読取機が接続及び使用できること	
	レシートプリンタが接続及び使用できること	
	ハンディーターミナルが接続及び使用できること	

利用者開放端末 ディスクトップパソコン

仕様	内容	対応
型	省スペースモデル	
OS	Windows10Professional	
ディスプレイ	カラー液晶TFTタッチパネル19 型以上	
CPU	インテル® Core™ i3-8100Tプロセッサ(3.10GHz)同等以上	

メモリ	4GB以上	
HDD	500GB以上	
LAN	RJ45 LANコネクタ相当 1ポート以上	
ワイヤレス	無線LAN (IEEE802.11ac, IEEE802.11n, IEEE802.11a, IEEE802.11g, IEEE802.11b)	
DVD-ROM	内蔵型	
USBポート数	4ポート以上	
キーボード	テンキー付きJIS配列準拠109キーボード	
マウス	ホイール付きUSBレーザーマウス又は、光センサーマウス	
セキュリティ	盗難防止セキュリティワイヤーが取付け可能であること	
ウイルス対策ソフト	ウイルス、スパイウェア、フィッシング、漏洩防止等を防止するソフトウェアを選定すること	
再セットアップ用媒体	Windows10Professional 1個	
OSブラウザ	次期システムに対応できる最新のOS・ブラウザを搭載すること	
保守	5年間当日訪問修理を行うことができること	

事務所用業務端末及び国立国会図書館デジタルサービス利用者用端末 ノートパソコン

仕様	内容	対応
型	ノート型パソコン	
OS	Windows10Professional	
ディスプレイ	液晶15.6型ワイドカラー液晶(解像度 1,366× 768 以上)	
CPU	インテル® Core™ i3-7100Uプロセッサ(2.40GHz)同等以上	
メモリ	4GB以上	
HDD	500GB以上	
LAN	RJ45 LANコネクタ相当 1ポート以上	
DVD-ROM	内蔵型	
USBポート数	3ポート以上	
ワイヤレス	無線LAN (IEEE802.11ac, IEEE802.11n, IEEE802.11a, IEEE802.11g, IEEE802.11b)	
DVD-ROM	内蔵型	
キーボード	テンキー付きJIS配列準拠	
マウス	ホイール付きUSBレーザーマウス又は、光センサーマウス	
セキュリティ	盗難防止セキュリティワイヤーが取付け可能であること	
ウイルス対策ソフト	ウイルス、スパイウェア、フィッシング、漏洩防止等を防止するソフトウェアを選定すること	
再セットアップ用媒体	Windows10Professional 1個	
OSブラウザ	次期システムに対応できる最新のOS・ブラウザを搭載すること	
オフィスソフト	最新のMicrosoft officeを搭載すること	
保守	5年間当日訪問修理を行うことができること	

※CPUの性能は、インテル社のベンチマーク性能比較を基準とする。

※セキュリティ対策として、BIOS及び記憶媒体に対するパスワード設定ができること。

モノクロレーザープリンタ

仕様	内容	対応
印刷方式	レーザービーム乾式電子写真方式(半導体レーザー)	
印刷速度	モノクロ(A4/片面):30ページ/分以上	
用紙サイズ	はがき~A3サイズまで対応可能なこと	
給紙容量	750枚以上用紙セット出来ること	
両面印刷	可能であること	
インターフェース	USB 2.0 Hi-Speed×1、USB 2.0 Host×1、1000Base-T/100Base-TX /10Base-T	
メモリ	512MB以上	
その他	5年間訪問修理を行うことができること(定期交換部品を含む)	

カラーレーザープリンタ

仕様	内容	対応
印刷方式	レーザービーム乾式電子写真方式(半導体レーザー)	
印刷速度	カラー(A4/片面):30ページ/分以上	
用紙サイズ	はがき~A3サイズまで対応可能なこと	
給紙容量	750枚以上用紙セット出来ること	
両面印刷	可能であること	
インターフェース	USB 2.0 Hi-Speed×1、USB 2.0 Host×1、1000Base-T/100Base-TX /10Base-T	
メモリ	512MB以上	
色	4色(ブラック、イエロー、マゼンタ、シアン)	
その他	5年間訪問修理を行うことができること(定期交換部品を含む)	

その他周辺機器

名称	仕様	対応
ハンディーターミナル	蔵書点検及び停電時に使用が可能なこと	
バーコードリーダー	レーザータイプであること	
レシートプリンタ	感熱ロール紙を使用し、パーシャルカットが可能なこと	
	オートカッター式であること	
	機器のサイズ 150(W)×220(D)×150(H)mm以内を目安	
	シリアル、パラレル、USB、イーサネット等のインターフェースの選択が可能	
督促プリンタ	秘匿感熱はがき又は、圧着式の督促はがきが作成可能なこと	
	圧着機が必要な場合は、その機器も併せて提案すること	

図書館システムの機能要件について、対応欄に記入すること。

対応可能：「○」 対応不可：「×」 オプション及びカスタマイズで対応：「△」

※○・△とした場合、費用は見積りに含み、本稼働時点で実装していること。

会社名

代表者名

印

図書館機能仕様書

大分類	小分類	処理機能	項目	対応可否	備考	
全般	全般	画面	1	画面のサイズは任意に変更でき、画面サイズに準拠して、画面内の入力項目のサイズも自動的に変更できること		
			2	データ登録を行う画面において、必須入力となる項目に任意の背景色、文字色を設定できること		
			3	全画面において、入力カーソルがある項目に任意の背景色、文字色を設定できること		
			4	使用する画面のフォントは任意に設定できること		
			5	全画面にログインIDと処理端末IDが表示できること		
	全般	入力	6	処理選択・コード値選択がマウスおよびファンクションキーで操作できること		
			7	TABキー、Enterキー、上下キーにより各入力項目間のカーソルを移動できること		
			8	ボタンが大きく、ディスプレイをタッチパネル式であれば指でタッチすることによって無理なく操作できること		
			9	バーコードリーダーによる読み込み時、必ず端末からも確認音が出る（端末で読み込めていない際はエラー音を出せること）		
			10	貸出画面や返却画面の資料明細で、マウスの右クリックによりローカル情報、タイトル情報の修正画面が起動するなど、カウンターでの資料修正の省力化が図れること		
			11	データ登録画面において、データ入力中に登録処理を行わないまま、誤って「終了」ボタンをクリックしたとき、確認メッセージが表示できること		
	全般	画面展開	12	貸出・返却等、各関連業務内の処理画面の個々の展開は、メニュー画面に戻らなくても可能なこと		
			13	ワンタッチで起動する別画面は、任意に設定できること（4つ以上）		
			14	画面展開の際、不要な確認については求めることなく表示すること		
			15	画面の遷移状況を表示し、その遷移過程にある画面には、1クリックで戻ることができること 例) ①貸出処理→②利用者検索画面→③利用者登録画面→④利用者貸出一覧画面の順で遷移したとき、①②③どの画面にも戻ることができること		
	全般	業務メニュー	16	業務メニューの構成は、館および端末ごとに変更できること		
			17	職員IDを設定することにより、職員ID毎に業務メニューを設定できること		
			18	ログイン情報画面でのWSIDの変更可否を制御できること		
			19	基本業務の起動はファンクションキーを押すことで可能なこと		
			20	業務メニューはボタンの配置場所、配置の順番、空きスペースなども各業務毎に設定可能なこと		
			21	メニュー画面に長期予約割当/長期予約待ち/予約受取希望日/予約割当可能資料/保管期限切れ雑誌が何件あるのかを表示できること また対象資料を一覧で表示し、印刷できること		
	全般	統計処理	22	貸出や返却の統計データについては、リアルタイムにサーバのデータベースを更新し、日時処理等特別な処理を必要としないこと		
			23	各種統計結果は、CSV形式での出力が可能なこと		
			24	集計結果を画面で確認でき、必要に応じて印刷できること		
			25	図書館要覧に記載している統計情報（分類別蔵書冊数（類目別、一般書／児童書別）、利用状況（一般／児童別の登録者数、延べ利用者数、地区別登録者数）、年度の資料貸出点数（一般書／児童書別、月別））を出力できること		
			26	利用（貸出・返却・予約）統計表は、日報（時間帯別）・月報（日別）・年報（月別）に出力できること		
	全般	レシートプリンタ	27	貸出期限票、予約者連絡票、回送指示票等のレシートを任意の専用プリンタにより出力できること		
			28	レシートの出力項目等を端末ごとに設定できること		

大分類	小分類	処理機能	項目	対応可否	備考		
		帳票	29	帳票システムとして、本図書館の仕様に合わせた背ラベル、バーコード等の印字が可能なこと			
			30	本図書館の仕様に合わせた資料番号バーコードをラベル形式で印刷できること			
			31	本図書館の仕様に合わせた利用者バーコードをラベル形式で印刷できること			
			32	ラベルプリンタと連携し、利用者名、利用者番号、利用者番号バーコードをシールラベルに印刷できること			
			33	必要な帳票内容は、CSV出力に対応できること			
		利用者カード	34	バーコードを印刷した利用者カードが利用可能なこと			
			35	非接触型ICカード（SuicaやEdy、おサイフケータイなど）を利用者カードの代替として使えること			
		分館対応	36	各館での資料移送を簡易に管理できることように①所蔵館（本館）②所在館（現在資料が処理された館）③行先館（回送などにより、資料の移動予定先の館）の管理を実現されること			
				37	処理の起動、検索・データ抽出の実行、プリンタ抽出の実行、テキスト出力の実行、データ更新の実行、パラメータの更新、システムコードの更新をログとして保存すること		
		操作者ログ	38	保存したログは以下の条件を指定して抽出することができ、画面または帳票に出力することができること 抽出条件：処理日範囲、ログインID、処理区分、処理端末番号、プログラムID、更新利用者番号範囲			
				38	保存したログは以下の条件を指定して抽出することができ、画面または帳票に出力することができること 抽出条件：処理日範囲、ログインID、処理区分、処理端末番号、プログラムID、更新利用者番号範囲		
カウンター業務	カウンター業務全般	画面表示	1	貸出・返却・検索等の画面は、常時Windows画面に表示でき、その切替えがマウス・キーボードにより可能なこと			
			2	画面構成は、誤動作を起こしにくく、疲れを感じにくい作りになっていること			
			3	主要業務（貸出、返却、資料検索、利用者検索）については、各画面の識別が容易にできるように工夫されていること 例）複数画面を起動したとき、画面の一部の背景色を見れば、その画面がどの機能であるか識別できること			
			4	以下の一覧については、表示項目、位置、列幅を任意に設定できること また、1明細に複数行を表示する設定も行えること ・貸出処理画面における貸出中資料の一覧 ・返却処理画面における返却済資料の一覧 ・返却処理画面における貸出中資料の一覧 ・利用者貸出一覧画面における貸出中資料の一覧 ・利用者予約一覧画面における予約中資料の一覧（1利用者に対する予約タイトルの一覧） ・利用者検索における、検索結果利用者情報の一覧 ・資料検索における検索結果書誌情報の一覧 ・資料検索におけるローカル情報の一覧			
			コメント	5	利用者に対して、複数のコメント通知機能を持ち、忘れ物・落し物・その他の案内等を定型文・自由文で随時入れられること		
				6	情報非表示設定時でも、ワンタッチで利用者詳細画面へ展開し、利用者氏名／資料名が確認できること		
				7	資料に対して、複数のコメントを通知する機能を持っていること（付録、汚破損状況等を定型文・自由文で随時入れられること）		
				8	資料情報および利用者情報に付加するコメント（定型文、自由文）の数に制限がないこと		
				9	コメントの注意音は、貸出時のみ・返却時のみのようにコントロールできること		
				10	資料の定型コメントに重要度（大・中・通常）を設定でき、重要度ごとに文字色・背景色が設定できること		
				11	利用者の定型コメントに重要度（大・中・通常）を設定でき、重要度ごとに文字色・背景色が設定できること		
貸出業務	貸出業務	貸出手順	1	利用者番号と資料番号のバーコード読み込みで完了すること			
		貸出処理	2	個人・団体・相互等、いずれの貸出処理も同一画面で行えること			
			3	資料番号を読み込んだ時点で貸出確定し、DBを更新すること			
			4	当日中に貸出処理をした資料の貸出取消ができること また、統計データは貸出がされなかったとみなして差し引かれること			
			5	未返却資料を貸出処理すると、自動的に返却処理すること また、チェック画面を表示させ返却後貸出を行う、返却のみ行う、処理を行わないを状況に応じた職員判断により処理を行える設定もできること			
			6	不明資料を貸出処理すると、自動的に不明状態を解除し状態区分を貸出中に変更できること			
			7	資料種別（図書・雑誌・AV資料等）毎、館毎、利用者毎の貸出日数、延期日数、延期回数、種別毎の貸出点数、合計貸出点数が設定できること			
			8	貸出資料一覧から資料の返却と所蔵状態を不明状態（強制不明）への変更を同時にできること			
			9	予約していた資料を予約していた利用者に貸し出すと、予約データが消去されること			

大分類	小分類	処理機能	項目	対応可否	備考
			10 予約していた資料を予約していた利用者以外に貸し出すと、予約データは維持されること		
			11 貸出処理時に表示される明細は自館又は自館グループに表示を限定することができること		
			12 利用者貸出一覧の画面にて、貸出館を「全館」「自館」「自館グループ」を切り替えて表示できること尚、初期値の値については、設定で変更できること		
			13 利用者貸出一覧の画面にて、貸出一覧の表示は「貸出館・返却期限順」「貸出館・貸出開始日順」の設定が可能なこと		
	図書館カレンダー		14 図書館カレンダーの休館日を設定することで返却予定日を管理し、また貸出画面での随時変更も可能なこと		
			15 図書館カレンダーは館毎に設定できること		
			16 カレンダーに設定する休館日は、貸出日数に含める休館日と含めない休館日が設定できること		
	貸出期間設定		17 各館毎に貸出期限を設定できること		
			18 貸出画面から任意に利用延長を行え、貸出期限票の印刷を行えること		
			19 貸出中資料の貸出期間延長・継続を任意に設定できること（ただし、予約資料・相互貸借資料時は自動的にチェックし、延期の可否を判断でき、また、設定によっては延期不可とすることもできること）		
			20 貸出中資料の延長を禁止する貸出日からの日数、延長を許可する返却期限日からの前後日数を任意に設定し、チェック対象となった場合は延期の可否を判断できること		
			21 貸出期間の変更が可能であり、その際にはキーボードからの入力のみならず一週間延長ボタンや、カレンダー画面表示からの選択の2種類が可能であり、入力の簡素化が実現されること（資料区分毎に変更可能なこと）		
	画面展開		22 貸出基本画面より貸出期限変更、利用者仮登録、利用者検索、貸出・予約一覧、利用者詳細情報へ展開できること		
			23 バーコードの読み込みにより、貸出画面／返却画面切替および貸出・返却処理画面の起動が可能なこと		
			24 利用者氏名、電話番号、住所、生年月日、状態区分等から利用者を検索した上で貸出処理へ展開できること		
			25 貸出資料の明細をダブルクリックすることにより、資料データの詳細情報（書誌詳細、ローカル情報一覧）が表示ができること		
	紛失登録管理		26 貸出一覧から継続貸出、強制返却、貸出取消、期限変更、紛失登録等の処理が可能なこと		
			27 紛失登録時から、任意の貸出状態を選択し、紛失日、メモを管理し、紛失資料の管理を行えること		
			28 紛失登録した資料に対する督促対象から除くことができること		
			29 紛失した資料情報、利用者情報の帳票が用意されていること 帳票の出力項目には、発行日、発行館、タイトル名、人名、出版者、出版年、分類、価格、ISBN、資料番号、所蔵館を印刷し、利用者に渡すことができるように、切り取り線も併せて印刷できること		
			30 紛失登録画面から、除籍予定入力が可能であり、除籍予定入力日、除籍事由区分の入力が可能なこと		
			31 貸出詳細画面から、紛失資料の弁償受領書を印刷できること		
	表示情報のクリア		32 個人情報保護の観点から、画面上に「表示クリア」ボタンを配置し、随時押すことにより表示情報クリアができること		
			33 個人情報保護の観点から、貸出し処理が終わった時点でその利用者への情報は全て画面からクリアされること（処理をしない一定の時間（設定可能）が過ぎると表示情報が自動的にクリアされること）		
	仮登録利用者への貸出		34 利用者の仮登録機能を有すること（その際、統計に必要な項目である性別・生年月日・地区コード・利用者区分は入力すること）		
			35 利用者登録画面で仮登録から本登録に更新した時に、仮登録の時に作成した統計データの利用者情報を本登録の利用者情報で更新することができること		
	家族連携登録		36 家族連携処理された利用者の場合、複数の利用者カードを連続して読み込み、人数に準じて貸出資料を連続して読み込むことができること		
			37 家族連携登録した利用者の家族の未返却資料一覧がワンタッチで表示できること		
			38 家族連携処理された利用者間の情報は相互に参照できること		
			39 家族連携処理をする利用者は登録時に確認作業を必要とすること		
	画面構成・表示		40 画面下部にキーボードのファンクションキー配列と同じボタンを配置し、任意の処理画面を展開できること（利用者番号読み込み時の割当ても設定できること）		
			41 利用者番号を読み込んだ時点で、利用者区分、資料種別毎の返却期限および既貸出資料数、延滞資料数、延滞資料（他予約あり）数、督促資料数、予約数、確保済み予約数を表示すること		
			42 既貸出資料（全資料、延滞資料、督促資料）の表示／非表示および色設定（文字色、背景色）の設定が可能なこと		

大分類	小分類	処理機能	項目	対応可否	備考
			43 読み込んだ資料の表示パターンを変更でき、また表示する項目（資料番号、資料名、貸出期限等）についても、項目や表示幅等が変更できること		
			44 貸出資料一覧表示時、資料種別が表示され、何を何点借りているか確認できること		
			45 個人情報保護の観点から、利用者氏名の表示／非表示を端末毎に予め設定でき、非表示設定時でも、利用者詳細情報画面に展開することで利用者氏名を確認できること		
			46 個人情報保護の観点から、貸出した資料名の表示／非表示を予め設定でき、たとえ非表示設定時でも、貸出情報参照により資料名を確認できること		
			47 個人情報保護の観点から、利用者番号読み込み時には氏名を表示し、資料番号を入力すると表示していた氏名を隠すこともできること		
			48 貸出画面から利用者の予約一覧画面を開き、予約状況の確認、予約取消が行えることまた、グループ予約、セット予約内容の確認、修正も行えること		
			49 利用者の予約一覧画面では、割当済みの予約と未割当の予約の色を任意に設定できること また、未割当の予約については、「自館貸出可」「返却待ち」「発注中」等の状態も色識別表示できること		
			50 貸出処理画面で、利用者の貸出中資料・予約中資料の一覧をワンタッチで表示できること		
			51 画面上に当日の貸出状況（点数・利用人数）をリアルタイムに準じて表示できること（表示する情報は、①その端末での状況、②その図書館での状況、③全館での状況とすること）		
			52 利用者の貸出状況一覧表示における延滞等の資料状態を色別表示できること		
			53 貸出処理時は、操作員が利用者番号読み込みと資料番号読み込みとを見間違わないよう、入力するフィールドの場所が変更になること また、資料番号フィールドで利用者番号を読込んだ場合、利用者番号でありますを判断して自動的に利用者番号フィールドに遷移し表示させることができること		
			54 利用者の貸出詳細画面では、紛失登録・督促連絡記録を一括入力できること		
		レシート印刷	55 貸出処理後、利用者番号・利用者番号バーコード・利用者氏名・連絡先・貸出資料・返却予定日・予約待人数・自由文等（端末毎に任意に設定可能）をレシートプリンタにより印刷できること		
			56 貸出明細印刷時に、延滞貸出資料、予約延滞貸出資料、督促貸出資料、予約有り資料に対して、先頭に特定文字を印刷することができること		
			57 貸出明細印刷時に、延滞貸出資料、予約延滞貸出資料、督促貸出資料、予約有り資料に対して、メッセージを印刷することができること		
			58 代表返却期限日をレシート上段に印刷できること代表期限日は、貸出明細の中で返却期限が最も早いもの、最も遅いものを設定により変更できること		
			59 貸出明細を資料名、資料番号の両方を印字できること		
			60 貸出印刷指示時に明細行が0件の場合「あなたが借りている資料はありません」等の固定文字列が印刷できること		
			61 貸出印刷指示時に広告として企業情報、商品情報などを印刷できること複数社に対応し、複数社の登録および登録された企業を順番に印刷できること		
			62 イメージデータを印刷できること		
			63 貸出レシートは再出力が可能であること 抽出条件として、全貸出中資料・当日貸出資料のみ・貸出日指定が選択できること		
			64 貸出レシートを再出力する際、貸出明細の出力順を、貸出開始日順か返却期限日順か選択できること		
			65 レシートに出力する内容は、通常のプリンタへの出力も可能であること		
		シール印刷	66 貸出処理後、資料名・著者名・出版者・利用日をラベルプリンタによりシールに印刷できること		
			67 シールに出力する内容は、未印字分・指定日分・当日貸出分・貸出中全て、から選択できること		
			68 シールは再出力が可能であること		
		操作員通知	69 バーコード入力以外のフィールドにフォーカスがある場合に、バーコード読み込み時に分かりやすい警告音を鳴らせること		
			70 通知はアラーム音・音声でも行え、端末毎に設定できること		
			71 貸出画面では、各種確認については確認する業務の性質上、必ずサブウィンドウで表示し、確認漏れのないようにすること		
			72 延滞資料有り・貸出点数オーバー・督促利用者・予約利用者・除籍利用者・コメント有り等を自動的に音やメッセージで操作員に通知できることその際、ウィンドウによる通知も任意に行えること		
			73 コメント付き資料、除籍資料・不明資料・予約資料・持出禁止資料等を自動的にチェックし、音やメッセージで職員に通知できること その際、ウィンドウによる通知も任意に行えること		

大分類	小分類	処理機能	項目	対応可否	備考		
		利用者カード	74	バーコードを印刷した利用者カードが利用可能なこと			
			75	利用者カードのイメージを印刷できること また既に登録済み利用者でも未登録の番号で印刷できること			
			76	利用者カード紛失への対応のため、登録済み利用者の利用者名、利用者番号、利用者番号バーコードをラベルプリンタで印刷できること			
		オフライン対応 その他	77	ネットワーク等の障害発生時にはオフラインによる貸出処理ができること			
			78	利用者に対するコメントチェックの際に、表示するコメントによってはチェックしないことが可能なこと			
		返却業務	返却手順	1	返却する資料の資料番号を読み込むだけで返却を確定すること		
				返却処理	2	資料番号を読み込んだ時点でDBを更新し、完了処理等が不要なこと	
			3		不明・紛失資料の返却処理を行うと、自動的に無効を解除すること		
	4		ブックポスト等の多量の返却本を連続で返却するため通知画面を一時的に表示しないようにする機能があること（返却済み資料の表示を残しておくこと） その際、レシート印刷はリアルタイムに行い、チェックされた内容の一覧リストをページプリンタで印字できること				
	5		家族連携登録をした利用者について、ワンタッチで家族の未返却資料一覧が表示できること				
	6		返却資料一覧表示時、資料種別（図書、雑誌、視聴覚資料等）貸出中資料が表示されること				
	7		返却手続きの際に、返却資料の保管場所情報を、処理端末の場所コードに変更するか否かを資料種別毎に設定できること				
	8		返却資料の除籍状態区分が除籍予定である場合、返却資料の除籍状態を自動的に通常に戻すか否かを設定が可能なこと				
	9		返却手続きにおける関連利用者へのチェックにおいて、返却利用者と返却利用者の家族連携利用者を対象にするか否かを設定できること 但し家族については、あらかじめ設定した家族連携利用者に限定することが可能なこと				
	10		返却時に予約資料を識別することができること				
	11		借受資料返却画面から、借受返却リストを印刷できること また印刷終了後、対象データを削除するかどうか確認メッセージを表示できること				
	画面展開		12	資料詳細確認・修正処理に移行ができること（複本情報に対しても同じ処理が可能なこと）			
			13	返却画面から貸出画面への展開は、利用者番号またはあらかじめ設定した番号のバーコードを読み込むだけでできること			
	表示情報のクリア		14	個人情報保護の観点から、処理をしない一定の時間（設定可能）が過ぎると表示情報のクリアができること（「表示クリア」ボタンを配置すること）			
	画面構成・表示		15	個人情報保護のため、返却第一画面では利用者名は表示しないこと（利用者番号表示、また当該利用者の未返却資料数および延滞数（うち予約有り数）の表示を端末毎に設定できること）			
			16	読み込んだ資料の表示パターンを変更でき、またその情報（資料番号・資料名・返却期限等）についても、表示する項目や表示幅等が変更できること			
			17	返却資料の保管場所毎に適用する背景色、文字色の設定が可能なこと			
			18	返却資料の受入形態区分毎に適用する背景色、文字色の設定が可能なこと			
			19	返却資料の更新後資料状態区分毎に適用する背景色、文字色の設定が可能なこと			
			20	返却資料の選択、読み込みにより返却者の詳細が確認でき、更に貸出・予約一覧を参照できること			
			21	画面下部または上部にキーボードのファンクションキー配列と同じボタンを配置し、任意の処理画面へ画面展開できること（資料詳細、貸出情報等の参照機能も割当てられること）			
			22	返却画面で、画面を切り替えることなく、資料を返却した利用者の未返却資料一覧を表示できること			
			23	未返却資料一覧から継続貸出、貸出取消、貸出延期、強制返却（不明処理）、一覧印刷の各処理ができること（返却期限票が任意に出せること）			
			24	未返却資料の延滞・督促情報は色別（文字色・背景色）による表示が可能なこと			
25			画面上に当日の返却点数をリアルタイムに準じて表示できること（表示する情報は、①その端末での状況、②その図書館での状況、③全館での状況とする）				
26			貸出資料一覧表示時、資料種別が表示されること				
操作員通知		27	通知はアラーム音・音声でも行え、端末毎に設定できること				
		28	確実に返却されない場合は、エラー音がでること				
	29	返却した利用者に関する予約割当て、コメント情報のチェックがかけられること					

大分類	小分類	処理機能	項目	対応可否	備考
			30 コメント付き資料・除籍資料・不明資料・借受資料・予約資料・未貸出資料等を自動的にチェックし、音やメッセージで職員に通知できること		
		返却者確認	31 資料を借りていた過去数名分の利用者の貸出状況を一覧表示で確認できること		
			32 返却者一覧から、当日返却した利用者名を選択し、レシート印刷ボタンを押すことで返却証明書をレシートに印刷できること		
			33 返却証明書には、利用者番号、貸出資料名、返却時刻および指定したメッセージを印刷できること		
			34 返却した資料は返却した時点で、貸出履歴を削除できること（以下の例外を除く）		
			35 返却された資料番号から、①当日中に限り②次回貸出までに限り③運用に制限をつけ、返却者が確認できること		
			36 返却された資料番号から、①前回利用者により②前々回利用者までに限り③指定した人数により④運用に制限をつけ、返却者が確認できること		
			37 返却者確認画面では、返却資料タイトル・返却日時・返却館・返却利用者番号・返却利用者名・返却利用者電話番号が表示できること		
			38 返却者確認画面の表示内容を返却資料タイトル・返却利用者番号番号に制限することができること		
		オフライン対応	39 ネットワーク等の障害発生時にはオフラインによる返却処理ができること		
		その他	40 返却資料の明細を右クリックすることにより、資料データの詳細情報（書誌詳細、ローカル情報一覧）が表示できること		
			41 利用者を特定することにより、当日の返却済み資料を確認できること		
		分館対応	42 所蔵館と返却処理をした処理館が異なる場合チェックし、画面にチェック画面を表示するか、表示しないか選択可能なこと		
			43 他館所蔵の資料が返却された場合、所蔵館と処理館が異なる場合に①所蔵館への回送するために、状態区分を回送中とし、更に行先館を管理できること ②所蔵館を処理館に変更すること ③所在館は変更せず、所在館のみ変更することが可能なこと（この場合、所蔵館への回送処理が発生しない前提）		
			44 他館所蔵から回送された資料の受入処理を返却処理バーコードスキャンのみで行えることができ、受入時に予約などの各種チェックを実施すること		
		予約対応	45 予約されていた資料が返却され、受渡館が返却処理をした館の場合、その資料は予約割当中とする		
			46 予約割当通知の画面上で、予約割当の続行、キャンセルが選択できること。		
			47 予約割当通知の画面上で、その資料の返却予定日が確認できること。（返却期限内であれば次の利用者への割当をキャンセルする）		
			47 返却された資料が他館受渡資料の場合、回送処理を実施し、本の状態を自動的に①予約回送中②通常回送中③回送中にしないを選択可能にすること		
			48 予約割当中の資料を再度返却しても、割当対象の利用者は変わらないこと		
		レシート印刷	49 予約されていた資料の返却時に、予約資料情報および予約割当て対象利用者の情報を予約割当通知票として自動的に印刷できること		
			50 予約割当通知票の最上部に割当対象利用者の氏名または氏名カナの先頭2文字を出力できること		
			51 予約割当通知票には割当利用者に対するの割当資料数、及び、最初に割当した資料の書名と割当日が表示されること		
			52 返却された資料がチェック対象の保管場所に設定されていたとき配架指示票が印刷できること		
			53 返却された資料が借受資料のとき、借受資料返却指示票を印刷できること		
			54 他館所蔵の資料が返却された場合、所蔵館が異なることを通知し、所蔵館への回送指示票を印刷できること		
			55 予約受渡館として他館を設定している資料が返却された場合、予約回送を通知し、予約回送指示票を印刷できること		
			56 予約割当通知票は再出力ができること		
			57 次のレシートに任意に登録した画像を印字できること 返却期限票／利用者番号通知票／資料レシート／書誌レシート／予約状況レシート／タイトル一覧レシート		
			58 レシートに印字する画像は複数登録でき、順番に印刷できること		
			59 レシートの画像は印字期間を登録し、開始／終了の管理ができること		
	資料検索業務	検索速度	1 300件ヒットで5秒以内		
		検索方法	2 資料名・著者名・出版者・ISBN・分類・MARC番号・内容細目等のMARCデータを有効に活用した検索および、タイトルコード、請求記号・資料番号を検索項目にできること		
			3 資料区分の複数選択による横断検索ができること		
			4 所蔵の有無、発注中資料の混在検索ができること		
			5 論理演算子（AND、OR、NOT）を使用し、複数項目間の複合検索が行えること（5項目以上の複合検索に対応すること）		
			6 項目により前方／後方一致、完全一致、中間一致で検索が行えること		

大分類	小分類	処理機能	項目	対応可否	備考
			7 各種検索キーをカナ・漢字・アルファベットの全半角・大文字小文字両方で同じ検索が行えること（同音異語でも検索でき、清音規則は任意に設定できること）		
			8 検索中断キーを有するほか、中断件数を設定できること（少ない文字数での検索の際、完全一致検索にするかどうか設定できること）		
			9 資料名・著者名・件名・内容細目など、項目を選択しない形の「全文検索」が行えること		
			10 「全文検索」では、複数の検索語をスペースで区切ることにより、「すべてを含む」または「いずれかを含む」といった掛け合わせができること		
			11 「全文検索」で検索する際、「含めるキーワード」だけでなく「含めないキーワード」を指定することができること 例：「京都」を含み「東京都」を含めない		
			12 全文検索と通常検索（前方一致等）は同一画面で行え、全文検索の条件と通常検索の条件との掛け合わせもできること		
			13 請求記号等の所蔵（ローカル情報）項目を一次キーとして検索できること（書誌項目との複合検索が行えること）		
			14 検索対象の絞り込み条件が設定できること（基本的なこと（資料種別・保管場所・所在館・状態区分等）は第一画面で設定、検索でき、リストアップができること）		
			15 種別、所蔵館、保管場所、所在館、状態区分、受入区分、予算区分、除籍状態、貸出開始日の検索およびリストアップができること		
			16 資料詳細情報確認画面から、書名、著者、出版者のリンク表示を行い、各項目をクリックすることで、選択項目を検索条件とした検索処理を実行することができること		
			17 本に印刷されているISBNバーコードを読み取って検索できること		
			18 項目指定の検索で入力された検索語があらかじめ設定した文字数より少ないときは、自動的に完全一致に切り替わって検索できること		
	印刷		19 検索した一覧をページプリンタ又はレシートプリンタに印字可能なこと		
			20 検索した一覧を紙に出力する以外に、CSVおよびPDF形式に出力可能なこと		
			21 レシートプリンタに印刷する際には、指定した明細から件数を指定した一覧印刷が可能なこと		
	絞込条件		22 ローカル項目（資料種別、所蔵館、保管場所、所在館、状態区分、受入形態区分、貸出区分、受入先、予算区分、購入区分、媒体区分、利用対象、流通区分、刊行形態）の組み合わせを絞り込み条件として選択可能であり、任意に絞込みのパターンとして上記区分の組み合わせを保持できること		
	典拠検索		23 内部で管理している典拠番号により、同名異人特定検索、ペンネーム等の別名の自動検索ができること（その関連を一覧画面で確認できること）		
			24 画面から典拠対象の追加・修正・削除が行えること		
	再検索		25 検索条件を自動的に保存（保存件数は任意に設定できること）し、後から再検索できること		
			26 目録画面にて、目録の次の項目から再検索ができること ・書名（書名／版書名／シリーズ名等）、著者、出版者 ・標目（タイトル、著者、件名）		
			27 再検索の際に、巻号情報を含めずに検索可能なこと		
	画面展開		28 検索を実行した結果、該当件数が一定の件数以下の場合、一覧画面に自動的に遷移できることまた、その件数は任意に設定できること		
			29 検索結果一覧画面から複本（ローカル）一覧画面、発注画面・目録画面・予約画面・資料詳細画面へ展開できること		
			30 複本一覧画面にて貸出中の資料表示時、ワンタッチで利用者詳細画面へ展開し、利用者氏名、電話番号等が確認できること		
			31 複本一覧画面にて貸出中の資料表示時、ワンタッチで貸出一覧、予約一覧画面へ展開し、貸出中資料、予約中タイトルの確認できること		
			32 書誌一覧画面、もしくは、複本一覧画面から、書誌登録、所蔵登録、予約・発注処理の各画面に展開できること		
			33 検索結果一覧画面で明細行をダブルクリックすることにより、予め設定された画面（複本一覧・目録表示・予約一覧・発注一覧・資料詳細）に展開できること		
			34 検索結果一覧画面から、MARCタグ単位の書誌情報一覧画面に遷移できること		
			35 複本一覧画面にて貸出中の資料表示時、ワンタッチで督促連絡依頼表の出力画面へ展開し、督促連絡依頼表を貸出館のプリンタに直接出力できること		
			36 複本一覧画面にて、以下の項目の日付を時分秒まで表示できること 最終利用日／資料確認日／最終更新日／初回不明確認日／最終不明確認日／不明本発見日／除籍予定処理日／除籍処理日／貸出日／督促日／督促連絡日／前回貸出日／前回返却日／前回継続貸出日		
			37 複本一覧では自館資料が先頭に表示できること。また自館資料の中で開架資料、閉架資料がある場合、開架資料を一覧の上に表示できること。		

大分類	小分類	処理機能	項目	対応可否	備考				
	画面構成・表示		38	検索結果を随時保存（件数は任意に設定）し、選択することにより最新の検索結果を表示すること（同一館内であれば他の端末でも保存した結果を利用できること）					
			39	特定書誌の資料の所蔵資料・未所蔵資料・発注中資料等の状態が検索結果から把握できること					
			40	書誌の詳細情報を目録カード形式で表示できること（目録表示は目録カードと同じく、全てのデータをカード形式で表示すること）					
			41	検索結果の書誌一覧内に代表サブタイトルを表示できること また、選択中の書誌に対応する全サブタイトルを一覧外に表示できること					
			42	検索結果から所蔵状態（不明資料・除籍・貸出中等）の把握・修正が行えること					
			43	検索結果一覧画面より検索結果一覧の印刷が行えること					
			44	検索結果一覧画面は登録順（最新が上）を常態とし、書名順・著者名順・分類順（任意に設定可能なこと）に並べ替えること					
			45	検索結果一覧で現在貸出可能、貸出中、他館貸出可能、所蔵なし資料等を背景色または文字色で色分けして表示できること					
			46	検索結果として表示する項目は任意に設定できること					
			47	予め画像や音声を登録した資料であれば、資料詳細画面からその画像や音声を参照することができること					
			TOOLi連携 (ウェブの機能でも可)			48	図書館所蔵情報と同時に未所蔵資料の検索をTOOLiサーバと連携して実施できること		
						49	書名、著者名、件名などをAND、OR検索できること		
						50	TOOLi連携検索時にフリーワード検索ができること		
						51	検索結果のタイトル一覧を所蔵データと色を変えて表示できること		
						52	検索結果の詳細情報の表示が行えること		
						53	詳細情報からデータのダウンロードを行い図書館データベースに取り込むことが可能なこと		
			利用者登録業務	住所入力		1	住所ファイルを有し、住所コードにより住所登録できること（住所コードの入力または選択により、住所・郵便番号が自動的に入力されること）		
						2	郵便番号入力確定時、住所ファイルから該当する住所コードを参照し、自動表示できること		
	3	住所コードの入力簡易ツールとして住所コード名（カナ）もしくは郵便番号を入力すると該当資料コード一覧が表示し、簡易にコード入力が可能なこと							
	4	広域地域の住所コード・地区コードが入っていて、利用者登録時に利用できること							
	5	日本郵便提供の郵便番号データを利用して郵便番号入力時に住所表記の自動表示をすることができること							
6	郵便番号データはあらかじめ設定したスケジュールで自動的にダウンロードすること								
	電話番号			7	複数の電話番号および連絡先を登録できること（この時、「保護者」「通勤先」などと別枠で入力でき、表示されること）				
	登録処理			8	利用者の登録、既存利用者の登録情報の修正、登録利用者の除籍、利用者カード紛失時等の再発行処理を行えること				
9				家族の2人目を登録すると、以降は電話番号入力後ワンタッチで利用者データを複写し、氏名・生年月日・性別等を直すだけで次々に登録することができること（前入力データのコピー機能を有すること）					
10				利用者の検索機能を有すること					
11				登録（修正）処理した利用者の履歴を参照することができ、次利用者の登録・修正処理にそのデータを活用できること					
12				利用者を修正する場合、同じ電話番号や住所を持つ利用者、または家族連携した利用者の情報も一括で修正できること					
13				生年月日を西暦でも和暦でも登録できることまた西暦で登録した場合、次回利用者情報を読み込み時は、登録したときと同じ形式（和暦、西暦）で表示されること					
14				生年月日ではなく年齢を登録する運用もできること					
15				利用者名入力時に、自動カナ振り機能を有すること（漢字のローマ字入力に基づいて振れること）					
	仮登録			16	貸出画面からワンタッチで利用者仮登録画面に展開し、簡易に利用者仮登録を行うことができること				
17				利用者仮登録画面の初期入力位置を、利用者番号に設定可能なこと仮登録時に利用者番号以外の入力を省略することが可能なこと					
	再発行			18	図書館利用データ（貸出状況等）を引き継いでの利用者カードの再発行・番号置換ができること				
	有効期限			19	利用者の有効期限の管理を行うことができること尚、貸出、返却画面にて、有効期限切れ前の事前チェックが可能なこと				
20				有効期限日の算出においては、処理日からの年数、もしくは、処理年の誕生日からの年数を選択できること					
	二重登録チェック			21	利用者氏名カナ、電話番号、生年月日で二重登録利用者のチェックを自動的に行えること				

大分類	小分類	処理機能	項目	対応可否	備考		
		パスワード登録	22	利用者のメールアドレスやパスワード情報の登録ができ、Web情報の提供・利用者端末等での貸出・予約のシステムと連動できること			
			23	E-Mailは最大6個まで登録できることまた、予約確保時の連絡先、督促の連絡先として、どのE-Mailでも指定できること			
			24	パスワード入力画面にてパスワードを表示するか、非表示とするか選択可能なこと			
			25	パスワードの非表示の際に職員のみ確認ができるように、パスワード入力により表示する機能を用意していること			
			26	ランダムなパスワードを発行できる仮パスワード機能を有すること 但し桁数等の基本情報を設定することができること			
			27	仮パスワードには、数字・英文字・記号が使用できること			
			28	仮パスワードには有効期限を設けることができること			
			29	利用者登録画面上でパスワードの参照・編集ができないように制限できること			
			コメント管理	30	利用者のチェック機能として定型コメントの選択とフリーな文字を入力できること		
		31		利用者コメントの種類により、利用者バーコードスキャン時に①毎回表示するコメント②表示後消去するコメント③チェックしないコメントの選択が可能なこと			
		32		利用者コメントを付与した日付、付与した館を登録できること			
		33		利用者コメントコード、及び、コメント付与日を条件として抽出した利用者の状態区分（利用可能、利用停止等）の一括更新ができること。			
		管理情報	34	管理項目として、データ登録館、データ登録サービスポイント、カード発行日、貸出形態区分、状態区分、除籍日、再発行回数、最終利用日の管理を行えること			
			35	利用者毎の過去5年分の利用実績（貸出数、利用回数）を参照できること			
		その他	36	年齢は生年月日から自動計算し表示すること（年次処理等は不要であること）			
			34	生年月日ではなく年齢の登録で運用する場合でも、年次処理などによる年齢加算の処理は不要であること			
			35	利用者カードの有効期限は自由に設定できること			
		予約リクエスト業務	予約処理	1	予約資料の現在の状態（利用可能、予約中等）の管理が行えること（貸出予定日を表示できること）		
				2	利用者単位の予約上限数を設定し、新規予約登録時に上限追加する場合は確認画面を表示し、続行・中断が選択できること		
				3	利用者単位の予約上限数は、資料区分（図書、雑誌、AV）の任意の組み合わせにより設定できること		
				4	特定した予約（割当て済みを含む）を解除できること		
				5	割当済みの予約の割当状態を解除したとき、予約データを残すのか取り消すのか選択できること		
				6	割当済みの予約の割当状態を解除し、予約データを残すとき、予約順位を最下位にするか割当待ちの最上位にするか設定できること		
				7	予約処理画面から利用者を検索し、利用者の設定ができること		
				8	受付館・受渡館を設定することができ、貸出・返却業務とも完全連携が行えること		
				9	本人が借りている資料のタイトルには予約できないようにも、できるような設定が利用者区分ごとに行えること		
				10	本人が予約しているタイトルには予約できないようにも、できるような設定が利用者区分ごとに行えること		
				11	館同士の資料の予約連絡をシステムと連係したメッセージ機能により行えること また、受け取った内容に関して確認や拒否等を行えることができ、関係する資料、利用者の詳細情報を表示、修正することができること		
				12	資料一覧画面で複数の資料を選択し、連続・一括予約を行えること		
				13	グループ予約（複数資料に任意の予約数を割当てること）が可能で、課題図書等への予約管理が可能なこと		
				14	グループ予約で複数の課題図書等の特定資料に予約をしても、任意の冊数貸し出すと他の特定の資料の予約も自動的に削除されること		
				15	予約の優先順位を設定するセット予約が可能で、上下巻等の巻号管理を行えること		
				16	通常予約済みの複数予約情報を後からグループ予約、セット予約ができること		
				17	グループ予約をあとからセット予約または通常予約に変更できること		
				18	セット予約をあとからグループ予約または通常予約に変更できること		
19	シリーズ本など、あらかじめセットとして扱うタイトルのグループを登録することにより、同じグループのタイトルが予約された際に自動的にセット予約にすることができること						

大分類	小分類	処理機能	項目	対応可否	備考
			20 貸出可能資料が自館になく他館にはある場合に、他館に対して予約回送依頼のメッセージをシステムから送信し、管理することができること		
			21 予約の連絡について連絡済、未連絡を管理でき、連絡済から一定期間（任意設定可）貸出されない予約資料を抽出・割当解除することで次の予約者が利用可能なこと		
			22 利用者番号と資料番号の入力による現物予約機能を有し、この場合でも複本管理予約ができること（予約欄にある資料を使い直接予約をかけられること）		
			23 複本がある場合、全ての複本に予約がかかり、どれか一冊が返却された時点で予約通知が行えること		
			24 相互貸借資料の予約にはチェック機能が働くこと（予約対象のタイトルが全て借受資料のときに注意メッセージが表示されること）		
			25 資料番号を入力し、特定資料に対して予約が可能なこと		
			26 特定資料に対して予約された資料は他の利用者に対して予約割当されないこと		
			27 特定資料に対して予約をした場合は、複本が返却されても予約割当されないこと		
			28 予約メモの入力ができること		
			29 予約メモは定型文や手入力、またはその両方の組み合わせができること		
			30 予約メモ情報は、返却時に出力されるレシートに印字可能であること		
			31 資料予約入力画面及び利用者予約一覧画面に、「代表サブタイトル」を表示できること		
		予約管理情報	32 予約処理の受付館、受渡館の選択が可能なこと		
			33 予約受付場所は、設定により館またはサービスポイントの指定が選択できること		
			34 予約受渡場所は、設定により館またはサービスポイントの指定が選択できること		
			35 窓口での予約受付場所は、各端末に設定された館またはサービスポイントを初期表示すること		
			36 予約の新規登録時、予約受付場所は、設定により初期値を変更できないようにすることができること		
			37 予約受付場所の初期値を変更できない設定の時でも、登録後に修正が可能なこと		
			38 予約した際の予約日時を管理することができること		
			39 予約順位は受付方法（窓口・館内OPAC・WebOpac）にかかわらず、登録した順番とする		
			40 予約順位の変更ができること ただし、予約受付時間は変更されないこと		
			41 予約受付時間を変更しても、予約順位は変更されないこと		
			42 予約された資料の割当方法（返却待ち、借受待ち、発注待ち等）の情報を管理できること		
			43 受取希望日の入力、管理が可能なこと		
			44 受取希望日を過ぎた予約がある場合、貸出画面や返却画面でメッセージが表示され、利用者に確認ができること また、受取希望日を過ぎた予約リストを出力し、予約の一括取消ができること		
			45 予約申込方法（来館予約、電話予約、OPAC予約、Web予約）の管理ができ、申込方法ごとの統計資料が出力可能なこと		
			46 資料の予約回送が無駄なく行うため複数資料の予約に対して各館で重複して資料を確保しないよう、予め設定した受渡館ごとの優先順位を加味して自館に所在している予約割当対象資料のリストが出力されること		
			47 予約リストを以下の条件によりリストの出力が可能なこと ・出力対象：全件、割当済のみ、未割当のみ、未所蔵への予約のみ ・範囲指定：予約受付日、予約受取希望日、資料区分、予約受付館、予約受渡館、利用者区分、予約申込区分		
			48 予約リストはタイトル単位で明細を出力でき、MARC番号のバーコードが印字できること。（MARC番号による発注等で利用）		
			48 選書登録、発注登録、借受予定登録の各画面から予約検索画面を呼び出し、予約一覧から選択した書誌を各画面に引用できること。		
			49 予約連絡ハガキを印刷できること		
		予約連絡管理	50 予約連絡管理として、以下の抽出条件により、データの抽出をし、予約連絡済の入力を管理およびメールによる一括送信が可能であること ・抽出条件：利用者番号、予約割当日、予約受付日、受付館、受渡館、電話番号、連絡方法（電話、E-Mail等）		
			51 予約在庫リストの出力時、予約受付館、予約受渡館の選択方法を館コードとするか、サービスポイントコードとするかを選択できること		

大分類	小分類	処理機能	項目	対応可否	備考
			52 予約リストを以下の条件によりリストの出力が可能なこと ・出力対象：全件、割当済のみ、未割当のみ、未所蔵への予約のみ ・範囲指定：予約受付日、予約受取希望日、資料区分、予約受付館、予約受渡館、利用者区分、予約申込区分 また予約受付館、予約受渡館の選択方法を館コードとするか、サービスポイントコードとするかを選択できること		
		予約制限	53 予約したタイトルに対して、割当対象館を特定館のみと指定することができること		
			54 予約したタイトルに対して、割当対象館を複数指定できること		
			55 予約したタイトルに対して、割当対象館を市町村等グループで指定できること		
			56 特定タイトルに対して、期間を指定した予約受付制限を実施すること		
			57 予約割当制限にて、特定資料に対して予約割当を不可とする設定が可能なこと		
			58 予約割当を禁止したい（予約させたくない）資料を特定の別置/分類や保管場所で指定することができること		
			59 長期延滞資料（貸出期限から任意期間すぎた資料を長期延滞資料と判断する）のある利用者が予約しようとした場合、メッセージを表示して予約できないようにできること また、職員判断により予約を受け付ける設定にもできること		
			60 予約制限のかかったタイトルを一覧で表示することができ、その結果の印刷、予約制限の解除、予約制限の設定変更ができること		
		予約上限	61 予約の上限設定に、申し込み方法（窓口/電話/OPAC/Web）およびタイトルの媒体区分ごとに予約の上限設定が可能なこと		
			62 1日に予約可能な件数を制限できること（申し込み方法毎）		
			63 予約したタイトルに対して、割当対象館を市町村等グループで指定できること		
		予約変更・取り消し	64 予約変更・取り消しの履歴を保存し、帳票に出力可能なこと		
			65 返却や受入等により利用可能となった利用者を抽出し、予約連絡一覧を表示できること		
			66 検索結果から予約処理に展開することができること		
			67 予約者の予約・貸出状況（予約数・貸出数・督促数・延滞数）を予約受付画面に表示できること		
			68 予約者の一覧を、氏名をつけてワンタッチで出せること		
			68 予約の取消を行う際、取消の理由を登録できること。取消理由は利用者の予約一覧に表示できること。		
			69 利用者の予約一覧上に取消した予約を表示できること。また、その取消情報を流用して新規の予約登録が行えること。		
		優先順位	70 基本的に予約した順で優先を決めるが、予約順位の変更が簡単な処理で可能なこと		
	相互貸借業務	予定入力	1 他館からの相互貸借の予定を入力でき、相互貸借の依頼表を出力可能なこと		
		受入処理	2 借受資料を自館資料登録と同様の操作で登録、修正が行えること（借受資料登録用の専用画面は持たないこと）		
			3 他館からの相互貸借の予定を検索し、該当する資料を特定し、受入処理して一般利用者に対する貸出ができること		
			4 どこの館からどの資料を借りているか画面で表示できること（借受館へ返却済みか等の状態も表示できること）		
			5 借受資料の登録は、事前に借受の予定を入力していなくても、資料到着後に登録して受入処理ができること		
			6 借受予定入力の際には、タイトル、著者名、出版社、出版年月、ISBN、分類番号、資料番号、請求記号、借用館、借用予定日等が入力できること		
			7 借受予定の資料に予約がかけられること		
		借受先への返却期限	8 借受資料単位にの借受先への返却期限を管理できること（一般利用者に対して貸出をする際に、他館資料の貸出期限と自館資料の貸出期限をチェックし、他館資料の貸出期限が短い場合、貸出期限が短い場合、貸出時に注意メッセージを表示できること）		
		返却処理	9 他館資料を返却した際に、借りた履歴を残すためにタイトル情報を保存するかどうかを選択できること（次回再利用できること）		
		履歴	10 他館資料の借受状況を、タイトルや借受日等から検索でき、どこの図書館から借りたかの管理が可能なこと		
			11 借受資料の履歴を表示する際、借受期限切れ資料の確認が容易にできること		
		統計処理	12 年報（相互貸借館毎・分類毎の貸出点数、借受点数）や実績一覧（借受タイトル・貸出タイトル）が印刷できること		
資料管理業務	書誌データ管理業務	書誌データ管理	1 典拠データを利用してMARCデータを登録できること		
			2 MARCの各種書誌情報（記事・内容等）を登録・修正することができ、検索対象とすることができること		
			3 複本資料も、既登録資料のMARCデータを利用して登録できること		
		TRC-MARC	4 TRCMARC（Uタイプ）に対応すること（人名典拠・内容細目・学習件名等の各種サブファイルの登録・活用ができること）		

大分類	小分類	処理機能	項目	対応可否	備考
			5 TRCMARC (Tタイプ) に費用を追加することなく対応できること		
			6 TOOLi等のMARCデータを直接取り込んで書誌を登録できること、また、TOOLiのダウンロード機能を利用して、個々の書誌情報の登録が可能なこと		
			7 定期的にTOOLiサーバ上のMARCデリバリファイルを確認し、新規(未処理)のMARCデータファイルが配信されている場合には自動的にダウンロードおよびMARC変換・展開処理を実行できること		
			8 JIS78で入力された文字とJIS90で入力された文字を同一視できること 例) 「蟬しぐれ」と「蟬しぐれ」		
		トーハンMARC	9 トーハンMARC V1.5に対応すること		
			10 文字コードはShift-JISとUTF-8に対応すること		
			11 本タイトルにルビのある書名についてのルビ読みを除いた書名(251Cタグ)が取り込めること		
			12 抄録・著者紹介の拡張タグが取り込めること		
			13 内容細目ファイルの取り込みができること		
			14 著者典拠ファイルの取り込みができること		
		AV-MARC	15 各種AV-MARCに対応していること		
			16 各種情報を可変長にして登録し、検索することができること		
			17 複数所蔵資料のデータ管理が行えること		
		JAPAN/MARC	18 国立国会図書館が提供する『JAPAN/MARC MARC21フォーマット』形式のMARCファイル取込みができること。		
			19 図書登録画面からNDL-OPAC (http://iss.ndl.go.jp/api/) の情報を検索する画面に展開し、検索した結果をコピーして書誌の登録ができること。		
		資料管理帳票	18 所蔵資料の資料区分・統計分類ごとに点数・金額を集計し、内訳表を出力できること		
			19 集計結果を画面で確認でき、必要に応じて印刷できること		
			20 統計データをExcelと連携し、2次加工できること		
	ローカルデータ管理業務	ローカルデータ管理	1 ローカル情報で「所蔵館」「所在館」等の詳細情報を管理して分館連携に対応できること		
			2 ローカル情報に定型コメントおよびフリーコメントを入力できること		
			3 コメント付与した日付、付与した館を登録できること		
			4 コメントコード、及び、コメント付与日を条件として抽出した資料に対するコメントの一括削除ができること		
			5 ローカル情報を資料バーコード読み込みによる連続変更および条件の範囲指定による一括変更ができること(所蔵館・場所変更・禁帯区分等の付与/変更、コメントの付与等)		
			6 ローカル情報を資料番号が登録されたテキストファイルの読み込みによる連続変更ができること(所蔵館・場所変更・禁帯区分等の付与/変更、コメントの付与等)		
			7 借受資料登録時は借受先が入力できること		
			8 資料の寄贈者情報の入力ができ、寄贈者単位での冊数確認および一覧表の印刷が可能なこと		
			9 複本のデータ管理が行えること		
			10 資料の除籍・復籍処理が連続で行えること		
			11 蔵書点検用携帯端末で読み込んだバーコード情報により、任意の複数の各区分の一括変更ができること		
			10 資料の新規登録時、資料種別がバーコード上の特定の桁位置の値から判別できる場合は自動的に表示すること		
			11 資料の新規登録時、資料種別が書誌情報のNDC分類または別置から判別できる場合は自動的に表示すること		
			12 資料の新規登録時、請求記号を書誌情報の下記の項目をもとに初期値を表示できること NDC分類、刊行形態区分、著者名カナ、書名カナ、巻冊記号、別置記号		
		蔵書点検	13 蔵書点検は全館一斉だけでなく、一部の館のみ点検処理を行い、他の館は通常通り開館できること		
			14 蔵書点検準備処理として、点検開始日・所蔵館・保管場所・資料種別・別置・分類を指定して、対象の資料を点検対象とする		
			15 蔵書点検準備処理で指定する組み合わせは、同時に複数設定できること		
			16 蔵書点検準備処理を複数設定する際は、条件の重複がないかチェックできること		
			17 蔵書点検準備処理で指定する組み合わせは、同時に複数設定できること設定された条件は、変更・削除が可能なこと		
			18 蔵書点検期間中でも発注や受入ができること		
			19 蔵書点検の際、除籍・未登録・配架場所相違等のチェックリストを出力できること		
			20 蔵書点検の際、不明資料・未返却資料については、自動的に通常状態にし、返却処理を行えること		
			21 蔵書点検は蔵書点検用携帯端末、業務用クライアントで作業ができること		
			22 不明更新を行う前に不明候補資料の一覧を印刷できること		
			23 任意指定回数以上の不明資料を一括で除籍に変更できること		
			24 蔵書点検中に通常返却処理を実施することが可能であり、返却された資料は点検済みとなること		

大分類	小分類	処理機能	項目	対応可否	備考					
	特集資料管理	特集資料管理	25	特集へ登録した資料の所蔵館、保管場所を一括で変更できること。また、特集終了後は変更前の所蔵館、保管場所を一括で戻ること。						
			26	特集を一時停止できること。一時停止した場合、登録資料の所蔵館、保管場所が変更前の内容に一括で戻ること。						
			27	一時停止した特集を復帰処理させることで、特集を再開できること。 例) クリスマス特集を来年度も再利用できる。						
			28	特集資料管理画面では特集の状態、特集内容、登録資料数、開始日、終了予定日、所蔵館、保管場所を一覧表示できること						
			29	特集へ登録している資料一覧を印刷できること						
			30	特集資料管理画面から、特集へ登録している資料の目録情報が参照できること						
			31	特集の終了は自動で行われず、任意のタイミングで手動で行えること						
			その他	32	借受け先別順の資料リストが出せること					
				33	弁償待ち資料の一覧が作成、印刷できること					
				34	資料情報更新結果印刷についてソート条件として請求記号を選択できること その際、資料種別+請求記号順にてソートできること					
				35	除籍資料リスト一覧画面、除籍予定リスト及び除籍リストに以下の情報が出力できること 全館の複本冊数/全館の利用可能冊数/最終利用日/通算貸出累計数/本年度貸出累計数					
			雑誌管理業務	雑誌管理	雑誌管理	1	タイトル書誌一覧を表示することによりタイトルを特定し、タイトル/巻号の書誌連携が行えること			
						2	タイトルと巻号情報が分けて管理されること			
						3	各種データを可変長にて登録し、検索できること			
						4	最新号の登録時に直前号の巻号情報を初期表示できること			
						5	雑誌巻号登録時、雑誌そのものに添付された雑誌JANコード(バーコード)スキャンにより、雑誌名、出版年、価格等が自動表示されること。			
						6	逐次刊行物(雑誌等)の欠号・増刊管理ができること			
						7	逐次刊行物等の製本(合本)処理ができること また、製本された資料のタイトル情報は移行され資料検索できること			
						8	最新号を受け入れしたタイミングで、それ以前の巻号は自動的に貸出可能となること			
						9	雑誌タイトルごとに貸出禁止期間の設定ができること			
						10	雑誌タイトルごとに保存期間の設定ができること 保存期間には「永久保存」の設定もできること			
			その他	外部公開	外部公開	1	おすすめ等の外部公開蔵書データの作成に特集資料管理機能を利用できること			
						2	貸出期限日・所蔵館・資料種別・除籍対象外貸出状態区分で特定した未返却資料を一括で除籍できること			
				その他	その他	その他	3	タイトル情報登録画面にて人名情報・著述区分を変更した際に、責任表示欄に変更した内容が反映されること。		
							4	未利用資料の一覧が印刷できること。また「最終貸出日」「最終確認日」を出力できること。		
							5	未返却資料一括除籍処理の検索結果一覧で、前回除籍実行した時の条件を保存し、初期値としてその条件を表示できること		
							6	資料番号またはISBN番号またはMARC番号が記載されたテキストファイルを読み込み、対象の書誌情報の一覧を画面表示や帳票出力できること		
			選書業務	選書管理	選書管理	1	ISBN番号から選書登録ができること			
						2	MARCを利用して選書登録ができること			
						3	TOOLi連携時には、TOOLiを利用したMARC番号入力により選書登録ができること			
						4	見計らい本等を使用して、選書候補となる資料を「選書登録」または「一括選書登録」ができること			
	5	発注前の選書状態を管理するための状態区分があること								
	6	選書リストに出力されたバーコードを読み込み、発注の状態を変更できること								
	7	選書リストに出力されたバーコードを読み込み、選書取消ができること								
	8	選書登録した資料を一括で発注処理ができること								
9	選書の一括発注時に選書保留状態の資料が発注対象にならないこと									
10	選書登録画面で各館の選書状況が確認できること									
11	選書の一括登録時、館ごとの注文数を指定して登録できること									
12	登録した選書情報を選書リストに出力できること									
13	選書リストに発注番号のバーコードを出力できること									
発注・受入管理業務	発注・受入確認	発注・受入確認	1	発注状況、受入状況が画面で確認できること						
			2	発注中の図書資料についてもMARCで検索できること(発注中のステータスを画面上に表示できること)						
			3	発注図書にそのリクエスト者を(複数)入力できること						
			4	新刊MARCやTRCDを利用した発注が可能なこと						

大分類	小分類	処理機能	項目	対応可否	備考			
			5	インターネットを利用したMARCデータの受発注システム（TRCのTOOLi等）に対応すること				
			6	同一タイトルに対する「二重発注」のチェックを可能とするため、発注点数を表示すること（他に何点発注しているか分かること）				
			7	新刊案内等に印刷されたバーコードを読み込むことにより、発注データの作成が可能なこと（一点毎の確定を必要としないこと）				
			8	発注の取消が行えること				
			9	発注する資料のMARC番号、ISBN番号を連続して入力することにより、一括発注ができること				
			10	TRCの発注データを作成できること（作成・抽出したデータは一覧形式で印刷できること）				
			11	新刊MARC一括登録時、「新刊急行ベル」などの資料は自動で発注データを作成できること（TRCの発注データは作成しない）				
			12	発注の取消ができ、取消した発注情報は履歴として残すことができること				
			13	TOOLi一括発注画面を使用したTOOLiサーバへの直接発注時に、以下の発注種別を指定できること 通常発注／クイック発注／見計らい発注				
			14	TOOLi連携時、発注一覧画面での「注文済」状態の発注情報に対し、以下の情報を出力できること TOOLi進捗状況／TOOLi受信方法／TOOLi受注形態／TOOLi受付日／TOOLi入荷日／TOOLi出荷日				
			15	MARC番号発注での発注入力時に、TOOLiサーバを参照して発注するタイトルの在庫状況を表示できること				
			16	発注の取消を行った際、その書誌に予約があり、かつ、貸出可能な資料が無い場合は、借受予定のデータを作成できること				
			受入処理	17	受入処理が終了した資料については、受入図書リストに出力できること（受入区分・受入日・資料種別順などでリストアップできること）			
				18	発注管理ファイルと受入管理ファイルのデータを定期的にマッチングさせて、未納入図書リストを書店毎に出力できること			
				19	発注情報を参照しながら受入処理が行えること			
				20	資料のISBNバーコードを読み取って書誌を特定して受入できること			
		20		各種MARCデータにより一括受入後、専用画面で検収処理が行えること（検収画面では、必要に応じてローカルデータの修正が行えること）				
		21		受入リスト印刷での帳票プレビュー・出力、およびテキスト出力にて、ISBN番号を出力できること				
		22		受入後一定期間、新着資料として識別することができること				
		23		受入リストを以下の条件によりリストの出力が可能なこと ・抽出条件：所蔵館、資料種別、受入形態区分、受入先、予算区分、購入区分、資料状態区分、受入日、別置区分、資料番号、分類 ・ソート条件：館、種別、受入形態区分、受入先、予算区分、購入区分、資料状態、タイトル順、資料番号順				
		新着資料印刷	24	雑誌受入リスト印刷で発行周期を出力できること				
			25	新着資料案内を印刷できること				
		予算管理	26	資料の受入先（書店等）が複数の場合でも予算管理ができること				
			27	発注時処理から予算の差し引き処理が自動連携できること				
			28	受入処理から予算の差し引き処理が自動連携できること				
			29	年度毎・月毎に予算額・発注額・受入額・予算残額・受入残額が管理できること				
		利用者管理業務	利用者検索	利用者検索	1	利用者氏名（カナ・漢字・アルファベットで全半角混在で可能）・電話番号・生年月日・利用者区分・E-Mail・利用者状態区分・利用者番号・連絡先名・連絡先電話番号・郵便番号での検索処理が行えること		
					2	複数の項目に入力することによりAND検索ができること		
					3	入力した検索条件に該当する利用者と、その利用者に対して事前に関連付けした家族利用者を同時に検索し、検索結果にまとめて表示できること		
					4	入力した検索条件に該当する利用者と、電話番号、もしくは、住所が一致する利用者を家族利用者として同時に検索し、検索結果にまとめて表示できること		
5	検索中断件数を設定できること（検索中断キーにより任意に中断できること）							
6	検索結果画面は条件入力画面と同一画面で表示されること							
7	利用者一覧にて表示できること項目の種類・幅・順番を任意に設定できること							
8	利用者の詳細情報を表示できること（氏名・電話番号・生年月日・年齢・住所・最終利用日・督促累積回数・有効期限・貸出資料一覧・予約資料一覧・コメント等が確認できること）							
9	検索された利用者を選定することにより、貸出中資料、予約中資料の確認、処理展開ができること							
10	検索された利用者を選定し、その家族が検索できること（家族連携対象者および電話番号一致利用者）							

大分類	小分類	処理機能	項目	対応可否	備考
			11 デフォルトカーソルの位置は、任意設定が可能なこと		
			12 入力した電話番号ですべての連絡先の電話番号を検索できること		
			13 ローカル端末による利用者検索では、公共、学校（自グループのみ）のみ検索対象とすること		
	利用者抽出		14 団体利用者・相互貸借利用者毎のリストが出せること		
			15 地区別利用者集計を出力できること		
			16 抽出結果を画面で確認でき、必要に応じて印刷できること		
			17 統計データをExcelと連携し、2次加工できること		
	利用者処理		18 利用者一覧画面から選択した利用者の番号置換え・再発行・有効期限更新・一覧印刷が可能なこと		
	無効処理		19 最終利用日から一定期間（任意に設定可）を過ぎた利用者を無効（除籍）にできること		
	督促処理		20 貸出期限・貸出館・資料種別・利用区分・予約状況によって督促対象者の抽出・設定ができること		
			21 一定期間以上未返却の資料、または返却予定日の範囲指定および督促回数により、督促はがきを印刷できること（印刷する利用者を任意に選択できること）		
			22 督促対象資料中の予約資料のみを抽出し、督促対象設定・はがきの印刷が可能なこと		
			23 返却予定日の範囲指定、督促回数、予約状況、借受け資料、貸出館により、督促リストの印刷ができること（氏名や電話番号・住所・資料種順に打ち出せること）		
			24 督促状で保護者を設定している場合は保護者の印字もできること		
			25 督促状に資料名・資料番号のいずれを印字するか選べること		
			26 督促はがきにコメントを印刷できること		
			27 はがきに「料金後納郵便」を印字できること		
			28 督促状はA4サイズのドライシール（単票）の用紙にも対応できること		
			29 督促状は封書（B5サイズ）にも対応できること		
			30 督促状は秘匿感熱用紙（はがき）にも対応できること		
			31 督促連絡メールをシステムから送信できること		
			32 複本一覧画面から、貸出中資料の貸出利用者に対して督促連絡を依頼する督促連絡票を、貸出館のプリンタに直接出力できること		
	紛失・弁償管理		33 貸出中資料を利用者が紛失した場合に、紛失中または弁償中という状態を管理できること		
			34 紛失資料の一覧が印字できること		
	予約連絡管理		35 予約リストを以下の条件によりリストの出力が可能なこと ・出力対象：全件、割当済のみ、未割当のみ、予約状態 ・範囲指定：予約受付日、予約受取希望日、資料区分、予約受付館、予約受渡館、利用者区分、予約申込区分		
			36 予約連絡管理として、以下の抽出条件により、データの抽出をし、予約連絡済の入力を管理およびメールによる一括送信が可能なこと ・抽出条件：利用者番号、予約割当日、予約受付日、受付館、受渡館、電話番号、連絡方法（電話、E-Mail等）		
	督促連絡管理		37 督促リストを以下の条件によりリストの出力が可能なこと ・抽出条件：貸出期限、督促回数、貸出館、資料種別、利用者区分、貸出状態、予約受渡館、連絡方法 ・利用者に対して督促対象外コメントを入力した場合、リストから対象外とすること ・上記督促リストは督促処理などのバッチ処理を不要とすること		
			38 督促連絡管理として、以下の抽出条件により、データの抽出をし、督促連絡済の入力を管理およびメールによる一括送信が可能なこと ・抽出条件：利用者番号、貸出期限日、督促日、督促回数、督促回数、貸出館、貸出状態、連絡方法（電話、E-Mail等）		
			39 督促連絡済の記録について、資料毎の連絡回数と各連絡時の情報（連絡日、連絡方法、備考等コメント）の管理が可能なこと		
	E-Mail機能		40 次の画面から対象の利用者に対しE-Mailの入力画面を開き、連絡用のメールを送信する機能を有すること 利用者貸出一覧画面、利用者予約一覧画面、利用者詳細画面		
			41 利用者の貸出一覧上で、連絡メールを送信したい貸出資料情報を選択し連絡できること		
			42 利用者の貸出一覧上で、連絡メールを送信したい貸出資料情報を選択し連絡する時、家族連携利用者には本人と家族の貸出情報を連絡できること		
			43 利用者の貸出一覧上で、連絡メールを送信したい利用者とその家族の貸出資料情報を選択し連絡する時、家族利用者の貸出資料が含まれていることを確認するメッセージが表示されること		
			44 利用者の予約一覧上で、連絡メールを送信したい予約資料情報を選択し連絡できること		
			45 利用者の予約一覧上で、連絡メールを送信したい予約資料情報を選択し連絡する時、家族連携利用者には本人と家族の予約情報を連絡できること		
			46 利用者の予約一覧上で、連絡メールを送信したい利用者とその家族の予約資料情報を選択し連絡する時、家族利用者の予約資料が含まれていることを確認するメッセージが表示されること		

大分類	小分類	処理機能	項目	対応可否	備考
			47 返却期限日が近づいている利用者に対して、返却期限日をお知らせするメールを送信できること		
			48 返却期限日を知らせるメールは、手動で対象者を抽出して送ることも、あらかじめ条件や処理サイクルを設定して自動で送ることもできること		
			49 返却期限日が過ぎていている利用者に対して、延滞を連絡するメールを送信できること		
			50 返却期限日超過を知らせるメールは、手動で対象者を抽出して送ることも、あらかじめ条件や処理サイクルを設定して自動で送ることもできること		
館内OPAC	館内OPAC	全般	1 タッチパネルディスプレイを利用したシステムであること		
		検索	2 ひらがな、カタカナ、数字、特殊文字の文字入力が可能なこと		
			3 フリーワードによる検索時、条件を空白で区切って複数入力することでAND/ORによる複合検索ができること		
			4 資料区分(図書・雑誌・AV(音響資料・映像資料))または全資料より選択して検索できること		
			5 資料種別または全資料種別より選択して検索できること		
			6 検索対象とする館を自館のみか全館かまたは複数の館を選択した上で検索できること		
			7 雑誌は雑誌タイトル毎に「スポーツ」等のジャンルが設定でき、ジャンル選択によるタイトル一覧が表示できること		
			8 タイトル・著者名(典拠データ参照)・キーワード等より選択して検索できること(一般書か児童書かで絞った後でも可能なこと)		
			9 50音表記から検索キーの入力ができること(この時表示されるキーボードは右並び、左並びが選択可能なこと)		
			10 検索中断ボタンにより検索処理の中断ができること		
			11 検索結果の一覧表示時に、検索キーワードをハイライト表示できること		
			12 検索結果が並べ替え(ソート)可能なこと		
			13 フリーキーワードによる中間一致検索が可能なこと		
			14 検索結果が複数ページにわたる場合、指定したページ(先頭ページ、最終ページ、ページ番号指定)に直接移動できること		
			15 特定保管場所の資料を検索対象外とすることができること		
			16 予め設定した任意の期間を超えて延滞している資料を検索の対象外にできること		
			17 発注中の資料を館内OPACで公開でき、検索/予約の対象にできること		
			18 検索結果に発注中の資料があるとき、タイトル一覧画面で資料状態が発注中であることがひとめでわかること		
			19 館内OPACでキーボードを使用することなく、漢字検索を行うことができること		
			20 検索結果に雑誌の最新号があるとき、タイトル一覧画面で該当タイトルが最新号であることがひとめでわかること		
		画面構成・表示	21 大人用・子供用の画面を用意し、利用者が使いやすい機能であること		
			22 画面を触らない時間(任意設定)が一定を過ぎたら、お知らせ等の自動表示、もしくは初期画面に戻る		
			23 一覧表示形式は、タイトル毎に横形式に表示すること		
			24 配架場所を画像表示できること		
			25 所蔵一覧から選択した資料に対する配架場所が画像表示できること(複数の館に存在する場合、それぞれの場所を表示できること)		
			26 資料情報明細欄に表示させる項目・幅・見出しが自由に設定できること		
			27 除籍予定や不明資料などは表示されません(状態区分により、任意に設定できること)		
			28 パラメータ管理により、タイトル詳細画面の内容紹介欄の表示を以下の3パターンに設定できること ・内容紹介を非表示にする ・内容紹介が複数あるとき、先頭の1件を表示する ・内容紹介が複数あるとき、紹介データごとに改行し、すべての内容紹介データを登録順に表示する		
		予約	29 館内OPACから、利用者番号、パスワードの認証により、予約受付が可能なこと		
			29 予約が完了したら認証済み状態ではなくなる		
			30 貸出中資料に延滞資料がある利用者の予約受付を制限できること		
			31 貸出中資料に延滞かつ予約あり資料がある利用者の予約受付を制限できること		
			32 貸出中資料に督促資料がある利用者の予約受付を制限できること		
			33 あらかじめ設定された連絡方法が登録されていない利用者の予約受付を制限できること		
			34 自館に貸出可能資料があるときに、予約ボタンを表示する/しないを設定できること		
			35 他館に貸出可能資料があるときに、予約ボタンを表示する/しないを設定できること		

大分類	小分類	処理機能	項目	対応可否	備考
			36 複数もしくは単数のタイトルを1回の認証で予約ができること		
			37 タイトル一覧画面で予約ができないタイトルは、複数選択のボタンの選択ができないようになっていること		
			38 タイトル一覧画面で複数のタイトルを選択したとき、ページを移動しても選択したタイトルは記憶していること		
			39 予約受付時に、予約受渡館、連絡方法、連絡メモを入力可能なこと		
			40 予約受付時の、予約受渡館、連絡方法、連絡メモを省略可能なこと		
			41 予約受渡のサービスポイントを受渡場所グループと受取場所の二段階で管理し、予約処理時に受取場所を選びやすくできること		
			42 選択したグループに属する受取場所が1つしか存在しない場合、自動的に受取場所の選択画面をスキップして次の画面に遷移できること		
			43 予約後、受渡場所を利用者自身で変更できること		
			44 検索した資料が貸出中、もしくは他館にある場合は利用者用端末システムから予約をかけることができること（利用者番号とパスワードを入力すること）		
			45 館内OPACからの予約変更・取り消しの履歴は、職員の業務端末で抽出・印刷ができること		
	セット予約		46 予約の優先順位を設定するセット予約が可能で、上下巻等の巻号管理を行えること		
	貸出・返却		47 バーコードリーダを設置することによって、利用者自身が貸出・返却手続きを行えること		
	パスワード登録		48 OPACから、新規にパスワード登録、申し込みが可能なこと		
			49 新規パスワード登録時には、利用者番号、氏名（カナ）、生年月日、電話番号で認証すること		
			50 新規パスワード登録時に、年齢で登録を制限できること		
	利用状況照会		51 利用者が現在借りている資料が一覧で確認できること		
			52 利用者が現在借りている資料について延長処理ができること（利用者および資料の状態が延長可能条件を満たした場合に限る）		
			53 返却期限が過ぎている貸出中資料は延長を制限できること		
			54 返却期限が過ぎていて、かつ予約がある貸出中資料は延長を制限できること		
			55 督促がされた貸出中資料は延長を制限できること		
			56 貸出中資料が借受資料の時は延長を制限できること		
			57 他の利用者が予約しているタイトルは延長を制限できること		
			58 返却期限が過ぎている貸出中資料が1点でもある時は、すべての貸出中資料の延長を制限できること		
			59 返却期限が過ぎていて、かつ予約がある貸出中資料が1点でもある時は、すべての貸出中資料の延長が制限できること		
			60 督促がされた貸出中資料が1点でもある時は、すべての貸出中資料の延長を制限できること		
			61 利用者が現在借りている資料一覧をレシート印刷できること		
			62 利用者が予約中の資料と予約確保されている資料が一覧で確認できること		
			63 利用者が予約中の資料と予約確保されている資料を同じ画面で一覧表示するか別々の画面で表示するかをあらかじめ設定できること。		
			64 利用者が予約中の資料について予約取消ができること		
			65 発注中資料および借受待ち資料の予約は、取消ができないようにすること		
			66 利用者が照会した予約一覧をレシート印刷できること		
			67 利用者認証時に、有効期限が過ぎている利用者のログインを制限できること		
	利用情報変更		68 利用者のパスワードおよびメールアドレスの変更が可能なこと		
	検索結果印刷		69 検索一覧の印字、資料詳細情報の印字が可能なこと（レシートプリンタ等）		
			70 一画面で、印刷ボタンは1回しか押せないようにできること（連打防止の機能を有すること）		
			71 自館所蔵資料がないときは印刷ボタンを表示しないようにできること		
			72 自館に利用可能資料がないときは印刷ボタンを表示しないようにできること		
			73 所蔵情報の明細は自館所蔵のみに限定できること		
			74 所蔵情報の明細は自館利用可能資料のみに限定できること		
			75 配架図画像が印刷できること		
	レシート印刷		76 館内OPACから予約受付票をレシートに印刷できること		
			77 予約受付票には予約した利用者について以下の情報が出力できること 利用者バーコード／利用者番号／利用者漢字／利用者カナ／予約受渡館／予約受渡SP／予約連絡方法		
			78 予約受付票には予約した資料について以下の情報が出力できること 資料バーコード／資料番号／タイトル／著者／出版者／出版年／ページ数／価格／請求記号		
			79 予約状況レシートに以下の情報が出力できること 発行日／利用者番号／タイトル／予約日／受渡館／予約順位		

大分類	小分類	処理機能	項目	対応可否	備考		
			80	次のレシートに任意に登録した画像を印字できること 返却期限票/利用者番号通知票/資料レシート/書誌レシート/予約状況レシート/タイトル一覧レシート			
			81	レシートに印字する画像は複数登録でき、順番に印刷できること			
			82	印字期間を登録し、開始/終了の管理ができること			
			お知らせ	83	催し物表示ができること		
			84	テーマ毎に集めた資料や紹介したい資料を図書館からのおすすめ本として表示できること			
			85	案内お知らせ機能で、図書館カレンダー情報を館毎にカレンダー形式で表示できること(システムと連動して自動的に表示できること)			
			86	新着資料・新刊資料・貸出ベスト資料・予約ベスト資料の表示機能があること(予め設定した条件・抽出サイクルにより自動作成されること)			
			88	新着資料・新刊資料・貸出ベスト・予約ベスト資料・おすすめ本は一覧を表示するだけでなく、一覧をタッチすることにより資料の詳細情報へ移り、資料の状態を確認、予約入力画面へ移ることができること			
			89	現在(データ抽出処理時点)の予約件数が多いタイトルの一覧を表示する、予約ランキング一覧を表示できること			
			90	利用者認証時に、有効期限日を過ぎているもしくは期限日間近の利用者に対しメッセージを表示できること			
			91	新着資料・新刊資料・貸出ベスト・予約ベスト・予約ランキングの各データはあらかじめ設定された条件および処理サイクルに従ってサーバー上で自動作成されること このとき、業務端末は起動していなくてもよいこと			
			92	新着資料・新刊資料・貸出ベスト・予約ベスト・予約ランキングの各データは業務端末上で手動で作成することもできること			
			統計処理	93	館内OPACのアクセス統計がとれること		
			94	館内OPACのページ別にアクセス統計をとることができること			
			95	館内OPACのアクセス統計は、期間指定により曜日、自館別の集計を行うことができること			
	読書推進ソリューション	読書マラソン	1	読書推進機能として、期間と貸出数目標値をパラメータで指定、もしくは利用者が本人で設定し、達成状況を確認できる機能を用意すること。			
Web蔵書検索システム	Web蔵書検索システム	全般	1	インターネット蔵書検索が可能なこと			
			2	Webサーバ上に公開データベースを持ち、検索ができること			
			3	蔵書検索はパソコンだけでなく、スマートフォン・フィーチャーフォン(携帯電話)からも検索ができること			
		検索	4	フリーワード検索は全文検索エンジンを採用していること			
			5	簡単な検索画面と詳細な検索条件を指定できること画面の両方があること			
			6	フリーワードによる検索時、条件を空白で区切って複数入力することによりAND/ORによる複合検索ができること			
			7	資料種別(図書・雑誌・AV(視聴覚))は、単一でも複数でもすべてでも、選択して検索できること			
			8	資料名(3項目以上の複合検索が可能なこと)、人名(同左)による検索のほか、出版者・発行者・件名・NDC分類・ISBN・出版年月による範囲指定が可能なこと(フリーワード全文検索機能を有すること)			
			9	検索一覧結果として、以下の項目(該当件数・現在頁数および全体頁数)・項番・資料名・人名・出版社・分類・出版年月等)を表示できること			
			10	タイトル一覧表示は、1ページに10件を標準とし、25件・50件・100件と選択可能なこと			
			11	詳細表示として以下の項目(書誌データとしては資料名・人名・出版社・出版年月・頁数・サイズ・価格・ISBN・分類・件名・注記・内容細目・内容紹介・著者紹介・利用対象等、ローカルデータとしては所在館・保管場所・種別・請求記号・資料番号・貸出区分等)を表示できること			
			12	検索条件入力画面、検索結果一覧画面でソート条件(タイトル、人名、出版者等)を選択することによって、検索結果を条件順に表示できること			
			13	検索対象とする館を複数選択した上で検索できること			
			14	検索中断ボタンにより検索処理の中断ができること			
			15	検索結果の一覧表示時に、検索キーワードをハイライト表示できること			
			16	資料データの状態(貸出状態、予約状態、資料状態)は業務サーバと連携し、リアルタイムに検索結果に反映されること			
			17	検索結果一覧、詳細画面で著者をクリックすることにより、選択した著者で再検索できること			
			18	発注中の資料をWebOPACで公開でき、検索/予約の対象にできること			
			19	検索結果に発注中の資料があるとき、タイトル一覧画面で資料状態が発注中であることがひとめでわかること			
			20	検索結果に雑誌の最新号があるとき、タイトル一覧画面で該当タイトルが最新号であることがひとめでわかること			

大分類	小分類	処理機能	項目	対応可否	備考	
		画面構成・表示	21	パラメータ管理により、タイトル詳細画面の内容紹介欄の表示を以下の3パターンに設定できること ・内容紹介を非表示にする ・内容紹介が複数あるとき、先頭の1件を表示する ・内容紹介が複数あるとき、紹介データごとに改行し、すべての内容紹介データを登録順に表示する		
		予約	22	予約システムを提供し図書館システムとシームレスな連携が可能なこと (予約データはリアルタイムに業務サーバに反映されること)		
			23	予約カート方式であること		
			24	予約上限チェック(Web+図書館基本システム)が可能なこと		
			25	PCブラウザ用画面にて利用者がログアウトした時やブラウザ画面を閉じた時にカート情報が削除されること		
			26	予約などの認証時にしようするパスワード保護対策として、一定回数連続で認証に失敗すると、設定された時間はログインを制限することができること		
			27	予約に際しては、利用者番号およびあらかじめ利用者に付与したパスワードによる認証を行うこと予約受取館の設定ができ、予約資料が準備できた際に、メールによる通知が可能であること		
			28	予約受渡のサービスポイントを受渡場所グループと受取場所の二段階で管理し、予約処理時に受取場所を選びやすくできること		
			29	予約受渡のサービスポイントを選択するとき、選択したグループに属する受取場所が1つしか存在しない場合、自動的に受取場所の選択画面をスキップして次の画面に遷移できること		
			30	予約後、受渡場所を利用者自身で変更できること		
			31	WebOPACからの予約変更・取り消しの履歴は、職員の業務端末で抽出・印刷ができること		
		セット予約	32	予約の優先順位を設定するセット予約が可能で、上下巻等の巻号管理を行えること		
		お気に入り登録	33	資料詳細から、お気に入り資料の登録が可能なこと		
		パスワード登録	34	WebOPACから、新規にパスワード登録、申し込みが可能なこと		
			35	新規パスワード登録時には、利用者番号、氏名(カナ)、電話番号等で認証すること		
			36	新規パスワード登録時に、年齢で登録を制限できること		
		利用状況照会	37	利用者が現在借りている資料が一覧で確認できること		
			38	利用者が現在借りている資料について延長処理ができること (利用者および資料の状態が延長可能条件を満たした場合に限る)		
			39	返却期限が過ぎている貸出中資料は延長を制限できること		
			40	返却期限が過ぎていて、かつ予約がある貸出中資料は延長を制限できること		
			41	督促がされた貸出中資料は延長を制限できること		
			42	貸出中資料が借受資料の時は延長を制限できること		
			43	他の利用者が予約しているタイトルは延長を制限できること		
			44	返却期限が過ぎている貸出中資料が1点でもある時は、すべての貸出中資料の延長を制限できること		
			45	返却期限が過ぎていて、かつ予約がある貸出中資料が1点でもある時は、すべての貸出中資料の延長が制限できること		
			46	督促がされた貸出中資料が1点でもある時は、すべての貸出中資料の延長を制限できること		
			47	利用者が予約中の資料と予約確保されている資料が一覧で確認できること		
			48	利用者が予約中の資料と予約確保されている資料を同じ画面で一覧表示するか別々の画面で表示するかをあらかじめ設定できること。		
			49	利用者が予約中の資料について予約取消ができること		
			50	発注中資料および借受待ち資料の予約は、取消ができないようにすること		
			51	利用照会の貸出状況表示画面において、返却期限を超過している明細に期限が超過していることを通知するアイコンとメッセージを表示できること		
			52	利用照会の予約確保資料一覧に引取期限日を表示できること		
			53	貸出・予約・予約確保の一覧画面にて、タイトルから1クリックで書誌詳細画面へ遷移できること		
		雑誌一覧表示	54	雑誌の一覧表示機能があること		
			55	刊行頻度を表示可能であること		
			56	雑誌情報は、図書館で任意に修正可能であること		
			57	雑誌一覧から雑誌を選択することにより、その雑誌の所蔵一覧へ移り、さらに資料を選択することにより資料の詳細情報を表示し、資料の状態を確認、予約入力画面へ移ることができること		
			58	雑誌一覧から非表示とする雑誌タイトルを任意で設定できること		
		利用者登録情報変更	59	E-Mail、パスワードの登録内容の変更が行えることまた、E-Mail変更時及び新規パスワード登録でのE-mail登録時は確認メールを送信し、記載されたURLにアクセスすることでE-mail変更を確定できること		
			60	予約時の予約受渡館の初期値を登録することができること		
			61	予約時の連絡方法の初期値を登録することができること		
			62	返却お知らせメールの受信選択が登録できること		

大分類	小分類	処理機能	項目	対応可否	備考	
		利用者機能	63	予約資料の選択はカート方式を採用し、複数タイトルを予約カートに登録し、1回の認証にて、複数タイトルの予約を行うことができること		
			64	予約カートは追加、削除を可能とすること		
			65	予約認証はカートに登録後、本予約実行時に、利用者番号、パスワードにより可能とすること		
			66	資料検索結果の第一画面の検索結果一覧にて、資料が貸出可能かどうか、禁退出等の情報をアイコンと文字で表示すること		
			67	図書館資料情報表示内に、Amazon等と連携し、書誌表紙画像などを表示できること		
			68	利用者認証時に、有効期限が過ぎている利用者のログインを制限できること		
		お知らせ	69	図書館カレンダー情報を館別にカレンダー形式で表示できること（業務システムに登録したカレンダーから抽出できること）		
			70	新着資料・新刊資料・貸出ベスト・予約ベスト・おすすめ本のリストが表示でき、一覧を選択することにより資料の詳細情報へ移り、資料の状態を確認、予約入力画面へ移ることができること		
			71	新着資料・新刊資料・貸出ベスト・予約ベストはOPACのデータ作成時と同時に作成されること		
			72	お知らせ表示機能があること図書館がデジタルカメラ等で撮影した画像を掲示可能であること		
			73	利用者認証時に、有効期限日を過ぎているもしくは期限日間近の利用者に対しメッセージを表示できること		
			74	子ども向けのお知らせ・検索等の機能があること		
			75	資料詳細画面で、予約ができない書誌の場合は「予約受付」ボタンを非表示とし、予約不可理由をメッセージで表示できること		
			76	資料詳細画面の複本一覧表示にて、資料種別、保管場所、所蔵館、所在館名称の表示文字数を任意に設定できること		
			77	資料詳細画面にて、雑誌の最新刊号は予約受付ボタンを非表示とし、最新刊のため予約できないことを通知するメッセージが表示できること		
			78	WebOPAC、館内OPACに表示するお知らせの期間を任意に設定できること		
			79	現在（データ抽出処理時点）の予約件数が多いタイトルの一覧を表示する、予約ランキング一覧を表示できること		
			80	利用者認証時に、有効期限日を過ぎているもしくは期限日間近の利用者に対しメッセージを表示できること		
	統計処理	81	WebOPACのアクセス統計がとれること			
		82	WebOPACのページ別にアクセス統計をとることができること			
		83	アクセス統計は、期間指定により曜日、ページ毎の集計を行うことができること			
	外部サイト連携	84	外部サイトと連携し、書影が表示できること。			
		85	書影はGoogleBooks及びAmazonサイト両社から選択可能な事			
		86	WebOpacの書誌詳細画面にISBNを使用した外部サイトへのリンクを作成すること。			
		87	外部サイト連携はGoogleブックス、Amazon、honto、紀伊国屋書店、楽天ブックス、7net、JUNKUDO、e-hon、ブグログ、メディアマーカー、カーリル、WebCatPlus、Amazon書評、国立国会図書館のサイトの全ての会社に対応でき、リンクの表示/非表示はそれぞれ選択できること。			
	読書推進ソリューション	My本棚	1	利用者の自分用の本棚に任意の書誌を登録できる機能を有すること。		
			2	貸出履歴の保存に同意する利用者のみ、貸出履歴を参照できること。		
			3	貸出履歴の保存に同意するかどうかの画面を用意する事		
		読書マラソン	4	読書推進機能として、期間と貸出数目標値をパラメータで指定、もしくは利用者が本人で設定し、達成状況を確認できる機能を用意すること。		
			5	図書館が設定したイベントとして読書マラソン大会を開催できること。		
	スマホ蔵書検索システム	全般	1	スマートフォン（iOSおよびAndroid）のブラウザに最適化された画面で、蔵書検索が可能なこと		
			2	画面の縦長・横長の向きに応じた画面レイアウトであること		
			3	Webサーバ上に公開データベースを持ち、検索ができること		
			4	スマートフォン向けに蔵書公開が可能なこと（フリーワード検索、貸出ベスト・予約ベストの表示が可能なこと）		
		検索	5	フリーワード検索は全文検索エンジンを採用していること		
			6	簡単な検索画面と詳細な検索条件を指定できること画面の両方があること		
			7	フリーワードによる検索時、条件を空白で区切って複数入力することによりANDによる複合検索ができること		
			8	資料種別（図書・雑誌・AV（視聴覚））は、単一でも複数でもすべてでも、選択して検索できること		
9			詳細検索では、キーワード、著者名、所蔵館、所在館、資料区分、資料種別、出版年月による範囲指定が可能なこと（フリーワード全文検索機能を有すること）			
10			検索一覧結果として、以下の項目（タイトル、サブタイトル、著者名、出版者、出版年等）を表示できること			
11			検索一覧結果として、資料状態（貸出可能、他館貸出可能、貸出中、発注中、貸出禁止等）がひとめでわかること			

大分類	小分類	処理機能	項目	対応可否	備考
			12 一覧表示数は1頁に10件を標準とし、1000件まで選択可能なこと		
			13 詳細表示として以下の項目（タイトル、サブタイトル、著者名、出版社、出版年、ISBN、内容紹介、蔵書数、予約数、貸出可能数、貸出数、蔵書館名、蔵書場所（請求記号）、蔵書種別、蔵書状態等）を表示できること		
			14 検索条件入力画面でソート条件（タイトル順、著者名順、出版年順、分類順）を選択することによって、検索結果を条件順に表示できること		
			15 検索対象とする館を選択した上で検索できること		
			16 検索中断ボタンにより検索処理の中断ができること		
			17 資料データの状態（貸出状態、予約状態、資料状態）は業務サーバと連携し、リアルタイムに検索結果に反映されること		
			18 詳細画面で著者をクリックすることにより、選択した著者で再検索できること		
			19 発注中の資料をスマートフォンOPACで公開でき、検索／予約の対象にできること		
			20 検索結果の一覧表示時に、検索キーワードをハイライト表示できること		
			21 検索結果に雑誌の最新号があるとき、タイトル一覧画面で該当タイトルが最新号であることがひとめでわかること		
		画面構成・表示	22 パラメータ管理により、タイトル詳細画面の内容紹介欄の表示を以下の2パターンに設定できること ・内容紹介を非表示にする ・内容紹介が複数あるとき、紹介データごとに改行し、すべての内容紹介データを登録順に表示する		
		予約	23 予約システムを提供し図書館システムとシームレスな連携が可能なこと（予約データはリアルタイムに業務サーバに反映されること）		
			24 予約カート方式であること		
			25 予約上限チェック（OPAC+図書館基本システム）が可能なこと		
			26 スマートフォンブラウザにてブラウザ画面を閉じた時にカート情報が削除されること		
			27 予約などの認証時にしようするパスワード保護対策として、一定回数連続で認証に失敗すると、設定された時間はログインを制限することができること		
			28 予約に際しては、利用者番号およびあらかじめ利用者に付与したパスワードによる認証を行うこと予約受取館の設定ができ、予約資料が準備できた際に、メールによる通知が可能であること		
			29 予約受渡のサービスポイントを受渡場所グループと受取場所の二段階で管理し、予約処理時に受取場所を選びやすくできること		
			30 予約受渡のサービスポイントを選択するとき、選択したグループに属する受取場所が1つしか存在しない場合、自動的に受取場所の選択画面をスキップして次の画面に遷移できること		
			31 予約後、受渡場所を利用者自身で変更できること		
		セット予約	32 予約の割当に優先順位を、利用者が簡易な操作で指定できること		
			33 予約の優先順位を設定するセット予約が可能で、上下巻等の巻号管理を行えること		
		お気に入り登録	34 資料詳細から、お気に入り資料の登録が可能なこと		
		パスワード登録	35 スマートフォンOPACから、新規にパスワード登録、申し込みが可能なこと		
			35 新規パスワード登録時には、利用者番号、氏名（カナ）、電話番号等で認証すること		
			36 新規パスワード登録時に、年齢で登録を制限できること		
		利用状況照会	37 利用者が現在借りている資料が一覧で確認できること		
			38 利用者が現在借りている資料について延長処理ができること（利用者および資料の状態が延長可能条件を満たした場合に限る）		
			39 返却期限が過ぎている貸出中資料は延長を制限できること		
			40 返却期限が過ぎていて、かつ予約がある貸出中資料は延長を制限できること		
			41 督促がされた貸出中資料は延長を制限できること		
			42 貸出中資料が借受資料の時は延長を制限できること		
			43 他の利用者が予約しているタイトルは延長を制限できること		
			44 返却期限が過ぎている貸出中資料が1点でもある時は、すべての貸出中資料の延長を制限できること		
			45 返却期限が過ぎていて、かつ予約がある貸出中資料が1点でもある時は、すべての貸出中資料の延長が制限できること		
			46 督促がされた貸出中資料が1点でもある時は、すべての貸出中資料の延長を制限できること		
			47 利用者が予約中の資料と予約確保されている資料が一覧で確認できること		
			48 利用者が予約中の資料と予約確保されている資料を同じ画面で一覧表示するか別々の画面で表示するかをあらかじめ設定できること。		
			49 利用者が予約中の資料について予約取消ができること		

大分類	小分類	処理機能	項目	対応可否	備考
			50 発注中資料および借受待ち資料の予約は、取消ができないようにすること		
			51 利用照会の貸出状況表示画面において、返却期限を超過している明細に期限が超過していることを通知するアイコンとメッセージを表示できること		
			52 利用照会の予約確保資料一覧に引取期限日を表示できること		
			53 貸出・予約・予約確保の一覧画面にて、タイトルから1クリックで書誌詳細画面へ遷移できること		
		雑誌一覧表示	54 雑誌の一覧表示機能があること		
			55 雑誌情報は、図書館で任意に修正可能であること		
			56 雑誌一覧から雑誌を選択することにより、その雑誌の所蔵一覧へ移り、さらに資料を選択することにより資料の詳細情報を表示し、資料の状態を確認、予約入力画面へ移ることができること		
		利用者登録情報変更	57 E-Mail、パスワードの登録内容の変更が行えることまた、E-Mail変更時及び新規パスワード登録でのE-mail登録時は確認メールを送信し、記載されたURLにアクセスすることでE-mail変更を確定できること		
			58 予約時の予約受渡館の初期値を登録することができること		
			59 予約時の連絡方法の初期値を登録することができること		
			60 返却お知らせメールの受信選択が登録できること		
		利用者機能	61 予約資料の選択はカート方式を採用し、複数冊を予約カートに登録し、1回の認証にて、複数冊の予約を行うことができること		
			62 予約カートは追加、削除を可能とすること		
			63 予約認証はカートに登録後、本予約実行時に、利用者番号、パスワードにより可能とすること		
			64 資料検索結果の第一画面の検索結果一覧にて、資料が貸出可能かどうか、禁退出等の情報をアイコンと文字で表示すること		
			65 図書館資料情報表示内に、Amazon等と連携し、書誌表紙画像などを表示できること		
			66 利用者認証時に、有効期限が過ぎている利用者のログインを制限できること		
		お知らせ	67 図書館カレンダー情報を館別にカレンダー形式で表示できること（業務システムに登録したカレンダーから抽出できること）		
			68 新着資料・新刊資料・貸出ベスト・予約ベスト・おすすめ本のリストが表示でき、一覧を選択することにより資料の詳細情報へ移り、資料の状態を確認、予約入力画面へ移ることができること		
			69 新着資料・新刊資料・貸出ベスト・予約ベストはOPACのデータ作成時と同時に作成されること		
			70 お知らせ表示機能があること図書館がデジタルカメラ等で撮影した画像を掲示可能であること		
			71 資料詳細画面で、予約ができない書誌の場合は「予約受付」ボタンを非表示とし、予約不可理由をメッセージで表示できること		
			72 資料詳細画面の複合一覧表示にて、資料種別、保管場所、所蔵館、所在館名称の表示文字数を任意に設定できること		
			73 資料詳細画面にて、雑誌の最新刊号は予約受付ボタンを非表示とし、最新刊のため予約できないことを通知するメッセージが表示できること		
			74 現在（データ抽出処理時点）の予約件数が多いタイトルの一覧を表示する、予約ランキング一覧を表示できること		
			75 利用者認証時に、有効期限日を過ぎているもしくは期限日間近の利用者に対しメッセージを表示できること		
		統計処理	76 スマートフォンOPACのアクセス統計がとれること		
			77 アクセス統計は、期間指定により曜日、ページ毎の集計を行うことができること		
		外部サイト連携	78 外部サイトと連携し、書影が表示できること。		
			79 書影はGoogleBooks及びAmazonサイト両社から選択可能な事		
			80 WebOpacの書誌詳細画面にISBNを使用した外部サイトへのリンクを作成すること。		
			81 外部サイト連携はGoogleブックス、Amazon、honto、紀伊国屋書店、楽天ブックス、JUNKUDO、ブグログ、カーリル、国立国会図書館のサイトの全ての会社に対応すること。		
	読書推進ソリューション	My本棚	1 利用者の自分用の本棚に任意の書誌を登録できる機能を有すること。		
			2 貸出履歴の保存に同意する利用者のみ、貸出履歴を参照できること。		
			3 貸出履歴の保存に同意するかどうかの画面を用意する事		
		読書マラソン	4 読書推進機能として、期間と貸出数目標値をパラメータで指定、もしくは利用者が本人で設定し、達成状況を確認できる機能を用意すること。		
			5 図書館が設定したイベントとして読書マラソン大会を開催できること。		
帳票・統計	帳票・統計	帳票全般	1 随時作成可能なこと		
			2 基本的にA4サイズで統一していること		
			3 抽出条件、打ち出し順の選択の幅が広いこと		
			4 印字途中での中断、取消、保留、継続が選択できること		
			5 基本的に罫線付きであること		
			6 プレビュー機能で画面で確認できること		

大分類	小分類	処理機能	項目	対応可否	備考
		帳票	7 以下の帳票等が印字できること		
			貸出票		
			貸出資料一覧		
			予約者連絡表（返却）		
			利用者リスト		
			多重登録利用者リスト		
			団体利用者リスト		
			未利用利用者リスト		
			督促リスト		
			督促はがき		
			督促連絡依頼票		
			長期延滞資料リスト		
			資料検索結果図書一覧		
			資料検索結果図書目録		
			新刊選書リスト		
			発注済新刊選書リスト		
			注文リスト		
			雑誌受入れ予定リスト		
			受入れリスト		
			未納品リスト		
			新着資料リスト		
			新刊リスト		
			雑誌受入れリスト		
			予算執行状況リスト		
			発注金額集計リスト		
			受入れ金額集計リスト		
			図書書名目録		
			図書著者名目録		
			図書分類目録		
			図書件名目録		
			雑誌タイトルリスト		
			AVタイトル順目録		
			AV人名順目録		
			AV分類目録		
			AV件名目録		
			人名典拠リスト		
			出版者典拠リスト		
			件名典拠リスト		
			図書原簿		
			除籍予定リスト		
			雑誌一括除籍予定リスト		
			除籍リスト		
			除籍原簿		
			未利用資料リスト		
			蔵書点検エラーリスト		
			蔵書点検もれリスト		
			不明資料リスト		
			利用統計日報		
			利用統計月報		
			利用統計年報		
			相互貸借月報		
			相互貸借年報		
			曜日別利用統計年報		
			地区別利用登録者集計		
			地区別利用冊数		
			団体貸出年報		
			雑誌号別貸出冊数集計		
			蔵書統計年報		
			受払年報		
			自由帳票（蔵書データ、利用者データ、統計データを対象とし、抽出項目、抽出条件、集計単位を任意に指定し、印刷イメージ及びテキストファイルに出力できること。また作成した抽出パターンは登録可能で繰り返し利用可能なこと。）		
			ベストリーダー		
			予約ベスト		
			AV利用状況リスト		
			雑誌別予約件数集計		
			貸出予約状況年報		
			広域利用統計		
			資料回送統計		

別紙3 図書館システムデータセンター設備要件

データセンターの設備要件について下記要領で記入すること。
 対応「○」、対応不可「×」を区分して、「対応」欄に記入すること。
 重点の項目に※印があるものについては重点要件とする。

業務	機能	項番	説明	重点	対応
セキュリティ	警備員の配置	1	警備員が常時（365日、24時間）配置されていること		
		2	IDカード認証と生体認証等の二要素以上により、入退出管理が行われていること	※	
	入退出管理	3	業者のサーバ室への入退出については、氏名管理が行われていること。	※	
		4	入退出マニュアルが明示されていること		
		5	入退出管理記録データについては、提出が可能なこと		
		6	非常時の物理的な鍵の管理が十分になされていること		
		7	不法侵入者を感知した場合、警備会社等に通報されること	※	
		8	監視カメラ等により24時間監視を行うこと	※	
		9	監視カメラによる監視範囲（サーバ室及び入退室経路）のカバーは100%であること	※	
		10	機器持出し防止等の対策が講じられていること	※	
施設運用	運営者	11	データセンターは契約企業（もしくは100%資本の関係会社）自身が運営していること		
	総合監視	12	施設の電源、設備、機器全体の動作状況が常時監視可能な設備を有していること		
	設備点検	13	施設点検時に無停電での実施ができること	※	
建築	立地	14	国内に設置されていること	※	
		15	緊急時には保守担当SEが早急に現地対応できること		
		16	自治体の洪水ハザードマップで浸水地域に該当しない場所にあること	※	
		17	津波被害の影響を受けない立地であること。また、海岸線からの距離や国、自治体の津波被害想定のリスク上、安全な場所であること	※	
	耐震基準	18	活断層から一定距離離れていること	※	
		19	昭和56年の新建築基準に準拠し、震度7に耐えうる設計であること	※	
水害対策	20	サーバ室及び回線機器等のスペースについては、水害対策を講じていること	※		
設備	サーバ室	21	本システム関連機器を設置するにあたり、十分な面積を有すること		
	サーバ室内ラック	22	機器及びラック等を設置した上で、空調効率を保持できる室内高を確保していること		
		23	室内の防塵対策が講じられていること		
		24	ラック自体に免震装置等の対策があること	※	
		25	ラックについては、施錠でき、許可されたもの以外は開閉できない仕組みを講じること	※	
	作業スペース	26	システムの保守・運用・管理を行うことが可能なスペースを有すること		
		27	作業に必要な照明及び非常灯を有すること		
		28	構内経路は事故や災害を考慮し、十分なスペースが確保されていること		
	データ保管室	29	データメディア類を適切に保管できる設備を有すること		
	電源設備	30	商用及び自家発電の最低2系統の電源を有していること	※	
		31	停電時には自動的に自家発電へと切替わることで無停止のまま運用継続できること	※	
		32	自家発電装置用の燃料は72時間以上分を備蓄し、無停止運用を継続できること	※	
		33	災害時対応として自家発電装置用の燃料は複数の元売業者と優先供給特約を締結していること	※	
	空調設備	34	サーバ運用に適した空調設備を有すること		
防火・防水設備	35	火災感知設備を有すること	※		
	36	窒素ガス消火設備を有すること	※		
避雷設備	37	避雷設備を有すること	※		
静電気対策	38	静電気対策が講じられていること			
その他	現地視察	39	本設備要件全般において、現地視察して確認が可能なこと	※	

別紙4 図書館システムサービス要件

図書館システムのサービス要件について下記要領で記入すること。

対応「○」、対応不可「×」を区分して、「対応」欄に記入すること。

重点の項目に※印があるものについては重点要件とする。

業務	項番	説明	重点	対応
可用性	職員機能の運用時間	1 全ての開館日、7:30～20:00に使用できること	※	
	市民サービス提供時間	2 計画停止を除く365日24時間サービスを提供できること	※	
	計画停止予定通知	3 最短でも14日前までには必ず通知をすること		
	重大障害時の代替手段	4 重大障害時にもPC単独で貸出業務を継続できること	※	
	計画停止（メンテナンス）	5 計画停止は月1回（最大6時間まで）までとする		
	レベルアップ方針	6 年2回の定期レベルアップを実施することとし、最短でも30日前までに内容と連絡すること。		
	パッチ適用	7 事前に図書館と協議し、適用タイミングを調整すること		
障害対応	データベース	8 RAIDによる二重化等の冗長化を施してあること	※	
	重大障害からの復旧時間	9 アプリケーションレベル（サービス再起動による障害復旧）：1時間以内、それ以外（OS/ハード障害）は48時間以内であること		
	復旧範囲	10 前日閉館状態のバックアップまで復旧できること	※	
	障害通知プロセス	11 緊急時は図書館担当者へ電話連絡すること	※	
性能	オンライン応答時間	12 応答時間は平均1秒以内（貸出）であること		
	大量バッチ処理時間	13 一括登録は6000件/時間以上行えること		
	夜間自動バッチ処理時間（日次、月次）	14 即時処理でない場合、日次、月次とも10分以内に処理されること		
	年次バッチ処理時間	15 即時処理でない場合、年次処理はセンター内で計画実行すること		
拡張性	パラメータ設定	16 各機能はパラメータ設定で業務運用に対する柔軟性と拡張性を持つこと		
	カスタマイズ性	17 MARC変換プログラム、WebOPAC定義体、館内OPACデザイン、各種の文言表現、画像など図書館固有の要件に関しては個別調整の余地を備えること		
	オプション製品追加	18 標準的なオプションシステムの追加においては基幹システムに対する構築作業費用を要さずに導入できること	※	
	外部サービス連携	19 県立図書館の横断検索と連携を図れること	※	
	同時接続利用者数（業務）	20 契約端末ライセンス数まで同時接続可能なこと	※	
	同時接続利用者数（Web）	21 同時接続利用者数は500アクセス以上であること		
	拡張要望への対応	22 年1回以上図書館からの要望を収集し、優先度に基づき順次パッケージ機能の追加開発へと反映させること	※	
センターサポート	受付時間帯	23 WebによるQA受付は24時間365日対応すること		
	対応時間帯	24 受付後は開館日月～金の8:30～17:30に速やかに対応をすること	※	
	対応体制	25 現地担当SEと連携してサポートを行うこと	※	
運用管理	運用者	26 クラウドサービス及びシステム基盤の運用は契約企業（もしくは100%資本の関係会社）自身で運用・保守を実施していること	※	
	稼働監視	27 アプリケーション変更、ポート監視、ハードトラブル監視を行うこと		
	検知時対応	28 異常値やトラブル、ハードウェア故障の予兆を確認した場合は速やかに必要な措置を取れること	※	
	緊急時対応	29 重大障害への対処や緊急性の高いセキュリティ対応が必要な際にパッケージシステム運用担当者が即時対応で駆けつけること	※	
	資源監視	30 サーバの資源使用量を随時監視し、必要に応じて拡張計画を立案し、使用料の範囲で実施すること	※	
データ管理	バックアップ方法	31 日次で自動取得し、センター内にディスク形式で保存すること。アクセス権は運用管理者のみに制限すること		
	バックアップ保存期間	32 3世代以上保存すること		
	統計データ保持期間	33 6年以上保持すること		
	データ管理の開始	34 移行データをセンターDBに格納した時点からサービス開始とすること		
	解約後のデータ消去	35 サービス解約1ヶ月の保持期間の後、完全消去すること	※	
情報保護	脆弱性チェック	36 脆弱性情報を常に収集し、改善事項に対して速やかに対策を講じること	※	
	セキュリティパッチ	37 OS・ミドルウェアのセキュリティパッチを適用し、安全性を保つこと	※	
	ウイルスチェック	38 保護ツールによるリアルタイム対策を行うこと	※	
	情報取得者の制限	39 利用者データにアクセスできる技術者はセキュリティ管理者の許可を得た者に制限し、担当者は個人情報保護に関する教育を定期的受講すること	※	
	情報取扱い環境	40 データ取扱い環境にはICカード・生体認証等による入室制限を行い、高セキュリティが確保された端末以外からアクセスできないようにすること	※	
	通信の暗号化レベル	41 TLS1.0（暗号化強度256ビット）以上で通信すること		
	個人情報の暗号化	42 利用者の個人情報項目はデータベースに暗号化を施すこと	※	
	個人情報アクセスログ取得	43 利用者情報に対する職員の操作ログを記録し、管理者職員が確認できること	※	
信頼性	情報開示認定制度への登録	44 サービスを行う図書館システムが情報開示認定を受けていること		
	解約時のデータの取扱	45 サービス解約時に図書館からのデータ抽出依頼に関しては無償で応じること	※	
	解約時のデータ抽出作業	46 サービス解約時はデータ抽出作業をサービス範囲内で実施すること 作業は、テスト1回、本番1回の計2回を見込むこと。	※	
	解約時のデータ項目表提示	47 サービス解約時、抽出データの対応項目表をサービス範囲内で提示すること	※	